

Always
with a SMILE!

2005/3 ▶ 2017/8

木造建築設計特集

2018

4月
特別号

Vol.157

Always ^{2018 4月号 Vol.157}
with a SMILE!

木造建築設計特集



久慈設計では、建築設計を通じ当社で担当いたしました設計作品を、『Always with a SMILE!』として2005年3月から13年間休むことなく毎月発行させていただいてまいりました。

その記念する創刊は宮城県津山町(現、登米市)つやま幼稚園舎でありました。木の葉をデザインした屋根で、子どもたちを健やかに育む園舎。当社では、四本の津山杉を使った大黒柱で園舎を設計させていただきました。地域産材の活用は当社としては公共建築物への利用・活用は積極的に取り組んでおります。平成22年10月「公共建築物等における木材の利用推進に関する法律」が施行されました。これに基づき国土交通省より「公共建築物における木材の利用の促進のための計画」が定められ、木造建築への機運が高まっております。さらに新しい建築建材としてCLT(Cross Laminated Timber)が開発されるなど、日本が森林大国である利点を生かした資材が開発されております。

この度お届けさせていただきました冊子は、環境に優しく林業の再生や森林の適正な整備、地球温暖化の防止に貢献する木造建築設計の作品をまとめた作品集となっております。ご覧いただき、ご指導ご助言を賜れましたなら幸いです。

平成30年4月
株式会社 久慈設計
代表取締役社長 **久慈 竜也**



株式会社久慈設計 Introduction of Company

お約束

1. 久慈設計の使命の実践

『本物の一流専門家集団づくりによるお客様と社員と社員の家族の笑顔づくり』
Always with a SMILE!

2. 経営理念の実践

『価値ある仕事によって社会に貢献しそれを通じて個人は成長し会社も発展していく』
本物の一流専門家集団としてお客様と共に成長・発展し、
共に幸せになり、共に社会に貢献します。

3. 正確な仕事をします

ISO9001に基づき、一流専門家の社員の社内チェックを通じて、正確な仕事をいたします。
業務工程管理はもちろんのこと、品質を守ります。

4. お客様の立場に立った回答をいたします

1. 難しいことを分かり易く
2. お客様の立場に立って色々の観点から回答します
3. 結論をきちんと話します

5. コンプライアンス法令順守を実践します

脱法・違法設計やこの相談は受けません。
会社が成長するための正しい方向のアドバイスをいたします。

6. 毎回の打合せ時に、打合せ内容を記入した「設計打合せ記録」「監理打合せ記録」を お客様控えとして必ずお渡しします。(情報を共有します。)

役員

(平成30年3月末日現在)

代表取締役社長 **久慈 竜也**

取締役会長 **櫻木 勲**
(一級建築士)

取締役副社長
東京支社長 **田村 徳好**
(一級建築士)

取締役専務執行役員
仙台支社長 **小川 茂樹**
(設備設計一級建築士)

取締役専務執行役員
本社技術総括 **吉田 司**
(一級建築士)

取締役常務執行役員
構造設計部長 **久保田 克之**
(構造設計一級建築士)

取締役常務執行役員
仙台支社副支社長 **本多 貞勝**

取締役執行役員
東京本部営業企画担当 **中井 健二**

取締役
経営企画室長 **久慈 和也**
(宅地建物取引士)

取締役
経営企画室次長 **久慈 拓也**

社外取締役 **戸田 雅和**
(設備設計一級建築士)

常務監査役 **久慈 香奈子**

監査役 **久慈 春香**

顧問 **久慈 次男**
(一級建築士)

顧問 **小川 惇**
(一級建築士)

資格者

(平成30年3月末日現在)

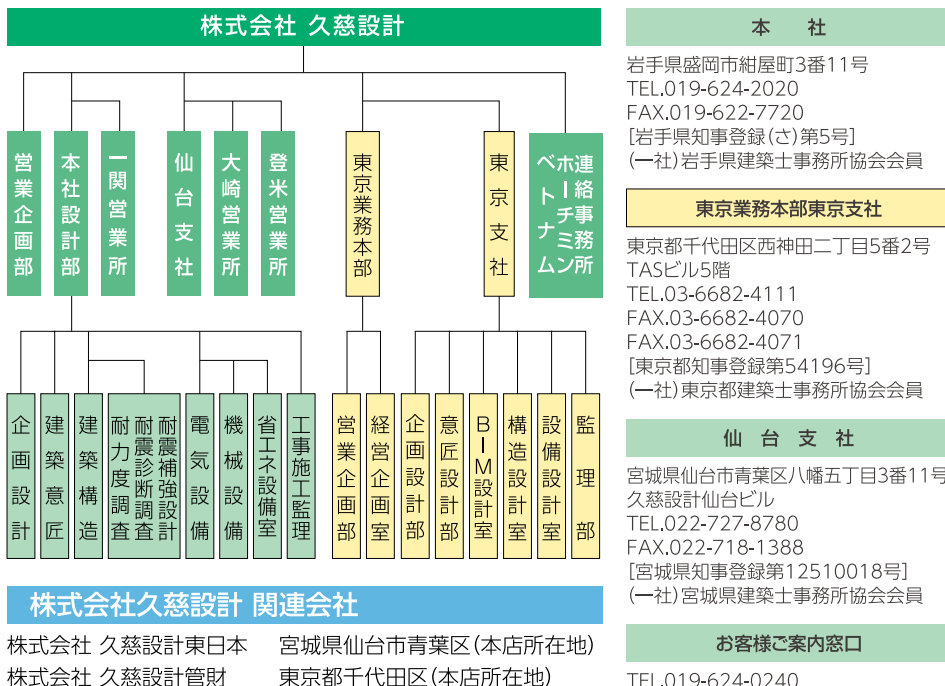
一級建築士 28名
構造設計一級建築士 2名
設備設計一級建築士 1名
建築構造士 1名
建築設備士 1名
一級電気工事施工管理技士 3名

一級管工事施工管理技士 1名
二級建築士 9名
建築コスト管理士 1名
建築積算士 9名
二級電気工事施工管理技士 1名
宅地建物取引士 1名

営業の沿革

名称	株式会社 久慈設計
本社	岩手県盛岡市紺屋町3番11号
設立	昭和6年6月
資本金	50,000,000円
ISO	国際品質保証規格 ISO 9001 認証企業
沿革	<p>昭和6年6月 久慈工務所を久慈謙司創立、所長となる。 その後久慈建築事務所と改称。</p> <p>27年6月 所長久慈謙司死去により、久慈次男所長となる。</p> <p>33年6月 久慈一戸建築研究所と改称。</p> <p>39年6月 株式会社組織変更。株式会社久慈一戸建築事務所と改称。 代表取締役任に久慈次男、一戸二郎就任し、久慈次男所長となる。 東京事務所開設。</p> <p>45年4月 代表取締役任に久慈次男、久慈孝就任する。一関支社開設。</p> <p>平成3年12月 株式会社久慈設計と改称。</p> <p>4年6月 代表取締役任に久慈次男、小川惇就任し、久慈次男社長となる。</p> <p>8年4月 久慈次男代表取締役会長、小川惇代表取締役社長となる。</p> <p>11年12月 国際品質保証規格[ISO9001]認証取得。</p> <p>13年4月 仙台支社開設し支店登記。</p> <p>19年4月 小川惇代表取締役会長、久慈竜也代表取締役社長となる。</p> <p>20年1月 東京事務所を東京支社とし支店登記。</p> <p>20年12月 資本金を50,000,000円(登記済)</p> <p>27年3月 ベトナムホーチミン連絡事務所開設。</p> <p>28年7月 顧問に久慈次男、小川惇就任。取締役会長に櫻木勲就任する。</p>

久慈設計ネットワーク組織図・事業拠点所在地



東京都

財務局

都立武蔵野北高等学校改修工事実施設計
 都立武蔵野北高等学校改修工事監理業務
 都立武蔵野北高等学校グラウンド改修工事監理業務
 都立足立新田高等学校改修工事実施設計
 都立足立新田高等学校改修工事監理業務
 都立足立新田高等学校(24)体育館棟その他改修工事監理業務
 都立足立新田高等学校(25)グラウンド改修工事監理業務
 都立小金井北高等学校改修工事実施設計
 都立小金井北高等学校(25)改修工事監理業務
 都立日野台高等学校(25)改修工事実施設計
 都立篠崎高等学校(26)改修工事実施設計
 都立日野台高等学校(27)改修工事監理業務
 都立篠崎高等学校(28)改修工事監理業務
 都立日野台高等学校(28)グラウンド改修工事実施設計
 都立日野台高等学校(29)グラウンド改修工事監理業務
 都立篠崎高等学校(29)グラウンド改修工事実施設計

都市整備局

都営新宿四丁目団地基本設計
 都営高層住宅葛飾区新宿四丁目団地建物設計
 都営池上五丁目第2団地基本設計
 都営高層住宅大田区池上五丁目第2団地基本設計
 都営立川市一番町五丁目団地(2期)基本設計
 都営中層住宅立川市一番町五丁目団地(2期)建物設計
 都営板橋富士見町団地(第4期)基本設計

福祉保健局

路上生活者自立支援センター品川寮新築工事設計
 路上生活者自立支援センター品川寮新築工事監理

中央区

中央区立城東小学校ほか6か所改修工事設計業務委託
 中央区立晴海中学校ほか7か所改修工事設計業務委託

文京区

文京清掃事務所外改修工事実施設計
 文京区立指ヶ谷小学校外1校内装改修その他工事実施設計委託
 文京区立指ヶ谷小学校内装改修その他工事(1期)監理業務委託
 文京区立根津小学校内装改修工事その他工事(1期)監理業務委託
 文京区立指ヶ谷小学校外壁サッシ改修工事実施設計委託
 文京区立磯川小学校外1校内装改修その他工事実施設計委託
 文京区立指ヶ谷育成室改修工事実施設計委託
 文京区立指ヶ谷小学校外1校内装改修その他工事(Ⅱ期)監理業務委託

江東区

江東区立扇橋小学校改修実施設計委託
 江東区立扇橋小学校校舎その他改修工事監理委託
 江東区森下保育園改修実施設計委託
 江東区森下保育園改修工事監理業務委託
 江東区東雲小学校増築その他改修実施設計委託

品川区

しながわ中央公園防災備蓄倉庫実施設計業務委託
 しながわ中央公園防災備蓄倉庫新築工事監理業務委託
 荏原第四地域センター大規模改修工事基本・実施設計業務委託
 荏原第四地域センター大規模改修工事監理業務委託

大田区

大田区立入新井保育園改築工事実施設計
 大田区立仲六郷保育園改築工事実施設計業務
 大田区立仲六郷保育園改築工事監理業務委託

中野区

沼袋西保育園仮園舎整備工事実施設計

杉並区

下高井戸保育園改築に伴う基本設計及び実施設計業務委託
 杉並区立下高井戸保育園改築工事に伴う工事監理業務委託
 杉並区立下高井戸子供園改築に伴う基本設計業務委託
 杉並区立下高井戸子供園改築に伴う実施設計業務委託
 杉並区立下高井戸子供園改築工事に伴う工事監理業務委託

世田谷区

世田谷区立総合福祉センター改修工事に伴う基本・実施設計業務委託

北区

中央公園文化センター耐震補強及び昇降機新設実施設計
 堀船小学校リフレッシュ改修実施設計業務委託

葛飾区

小学校および中学校15校現況調査業務
 小菅保健センターほか3耐震診断等業務委託
 金町保健センター改修工事実施設計業務委託

八王子市

(仮称)八王子市大横保健福祉センター整備設計委託

三鷹市

鷹南学園第五中学校体育館建替実施設計
 鷹南学園第五中学校体育館建替監理業務

府中市

郷土の森複合施設(仮称)新築工事実施設計
 郷土の森複合施設(仮称)新築工事監理業務

町田市

(仮称)町田市立大戸・武蔵岡合同校舎型
 小中一貫校整備実施設計
 (仮称)町田市立大戸・武蔵岡合同校舎型
 小中一貫校整備工事監理業務

小平市

小平市立小川西保育園改築工事設計等業務委託
 小平市立小平第五小学校増築工事基本設計等業務委託

福生市

市民会館外壁改良工事設計委託
市民会館外壁改良工事監理委託
福祉センター設備改良工事設計委託

東久留米市

浅間町地区センター耐震補強工事実施設計業務

稲城市

稲城第七小学校校舎大規模改修工事設計委託
稲城第七小学校校舎大規模改修工事監理委託

国分寺市

防災関連用地整備工事に伴う実施設計委託

埼玉県新座市

(仮称)新座ふれあいの家建設工事実施設計業務委託
(仮称)新座ふれあいの家建設工事監理業務委託
新座市立石神小学校校舎大規模改修工事及び
校舎トイレ大規模改修工事設計業務委託
新座市立石神小学校校舎大規模改修工事監理業務委託
新座市立第二中学校校舎トイレ大規模改修工事設計業務委託
新座市立第二中学校校舎トイレ大規模改修工事監理業務委託
新座市立石神小学校屋外トイレ大規模改修工事監理業務委託
新座市立石神小学校屋外運動場夜間照明灯新築工事
設計業務委託
新座市第七保育園解体工事設計業務委託
新座市立石神小学校校舎大規模改修工事補正設計業務委託
新座市立石神小学校校舎大規模改修工事監理業務委託

埼玉県朝霞市

朝霞市民会館耐震補強等工事設計業務委託
朝霞市民会館耐震補強等工事監理業務委託

埼玉県蕨市

留守家庭児童指導室整備工事設計委託(北町地区)

千葉県浦安市

浦安中学校大規模改修・増築工事設計業務委託
見明川中学校校舎大規模改修工事設計業務委託
浦安中学校大規模改修・増築棟工事監理業務委託

千葉県鎌ヶ谷市

鎌ヶ谷市立五本松小学校普通教室・特別教室等
整備工事設計委託
鎌ヶ谷市立五本松小学校普通教室・特別教室等
整備工事監理委託

福島県郡山市

郡山市屋内水泳場建設設計委託
(仮称)郡山市屋内水泳場新築工事監理業務委託

福島県飯館村

平成25年度飯館村交流センター建設工事基本設計業務
平成26年度飯館村交流センター(仮称)建設工事実施
設計業務委託
平成26年度大谷地建替団地全体基本設計業務委託
平成26年度飯館村大谷地団地建替実施設計業務委託
消防分署建替基本設計業務委託
平成27年度飯館村交流センター(仮称)建設工事
監理業務委託
平成27年度消防飯館分署建設工事監理業務委託
平成27年度大谷地団地建替1期工事監理業務委託

首都高速道路

建物補修設計業務
神奈川管理局社屋構造検討
高速横浜環状北線建物補償算定基礎資料作成
神奈川管理局社屋改修設計
(修費)建物改修設計26-3-1

公立学校共済組合

公立学校共済組合宿泊施設耐震診断業務(関東・東北ブロック)
公立共済四谷ビル耐震診断業務

国立病院機構

下志津病院整備工事基本設計・実施設計・工事監理業務

国立大学法人

一橋大学第3研究館・外国人研究者等宿舍設計業務
東京大学(本郷)理学系校舎改修設計業務
千葉大学看護師宿舍新営工事設計業務

独立行政法人中小企業基盤整備機構

新事業創出型施設ベンチャープラザ船橋設計監理業務

独立行政法人都市再生機構

(仮称)大槌町大ヶ口地区災害公営住宅基本設計業務

独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構

宮城職業訓練支援センター(多賀城実習場)
災害復旧工事設計業務
宮城職業訓練支援センター(多賀城実習場)
災害復旧工事監理業務

その他団体

日本中央競馬会(JRA)
エクセル伊勢佐木エクセル改修工事設計等業務

木造建築設計特集

Wooden architecture

Section Index

教育施設

Education・Laboratory

PAGE ▶▶▶ **08**

庁舎・事務所

Public Office

PAGE ▶▶▶ **36**

交流施設

Region exchange Facility

PAGE ▶▶▶ **48**

医療・福祉施設

Hospital・Welfare

PAGE ▶▶▶ **58**

宗教施設・寺社・仏閣

Faith institution・Temple

PAGE ▶▶▶ **64**

共同住宅

Housing・Apartment

PAGE ▶▶▶ **70**



登米市立 つやま幼稚園

施工地／宮城県登米市津山町柳津字形沼9-2

延べ床面積／697.85㎡(211.5坪)

建築面積／851.83㎡(258.1坪)

構造／木造平家建て

部屋別面積／

保育室(2室) 132.50㎡(40.2坪)

遊戯室(ランチルーム含む) 299.92㎡(90.9坪)

事務室 62.56㎡(19.0坪)

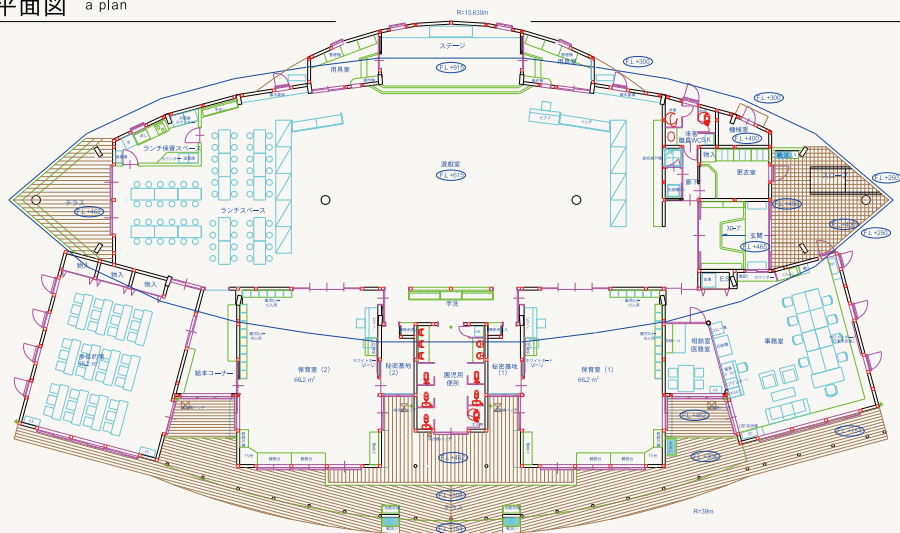
相談室(医務室) 12.21㎡(3.7坪)

その他(ろうか・用具室・トイレ等) 190.66㎡(57.7坪)

地域と共に心豊かに育つ楽習の場の創造

私達は、幼稚園を人格形成の基礎を培うところと考え、子どもの知恵と心・体の調和の取れた発達をうながす場として、多様な空間を創造し、楽習の場として魅力あふれる居心地の良い環境を創り出しました。

平面図 a plan



玄関



図書コーナー



保育室



保育室



ひみつ基地



1. 子ども達の遊びのカテゴリー

- ・ 自然と遊ぶ
- ・ 友達と遊ぶ
- ・ 手を使って遊ぶ
- ・ 絵本を読む・読み聞かせ
- ・ その他

これらのカテゴリーに留意しながら、子ども達の目線に立って設計に取り組みました。

2. 遊戯室

地元産材（津山杉）を 100% 使用した木造建築物で、津山町の地場産業の活性化に大きく貢献した施設となっています。遊戯室には、樹齢 80 年の杉丸太Φ80cm の原木を 4 本シンボルに使用し、又その他柱材は、集成材に加工し大型木造ラーメン構造を実現しました。

地元関係者には、子ども達に、木のぬくもりを十分に教えることができ本当によかったと、喜んでいただいております。

3. ランチルーム

地元の杉材で作ったテーブル、いすを利用しみんなで食事ができる、食事専用スペースを確保しました。床はホールと一体になっていて、安心・安全な新素材ゴムチップパネルを使用し、転倒によるケガ防止を考え、温度むらの無いオール床暖房設計をしました。

4. 歯磨きコーナー

歯磨きコーナーには、傾斜鏡を取付け磨き指導ができるよう配慮しました。又コップ収容戸棚には、空気強制循環方式による殺菌システムを取付け清潔で、安心な戸棚としました。





盛岡市立 本宮保育園

施 工 地／岩手県盛岡市本宮4丁目38-10
 竣工年月日／平成19年1月
 敷 地 面 積／3,227m²
 延 床 面 積／776.10m²
 構 造／木造平屋建(準耐火建築物)

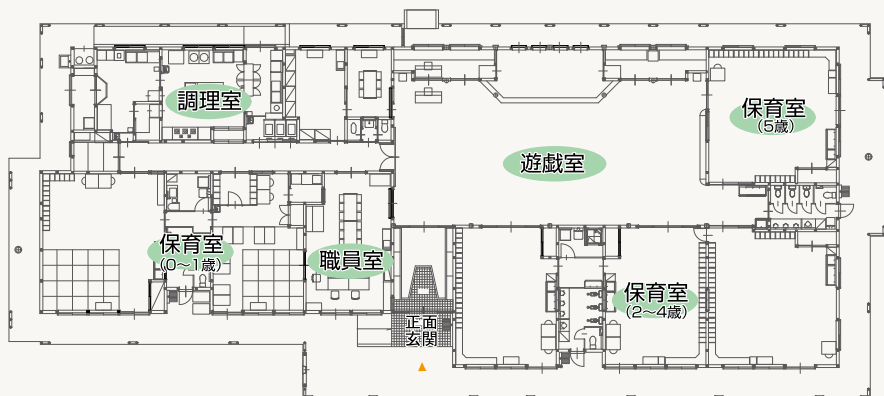
盛岡盛南開発に伴い「子どもをとりまく環境」に配慮

近年子どもたちをとりまく環境は、少子化が進み幼児全体が減少する一方、共働き世帯の増加や核家族化などにより乳児保育へのニーズが高まり、保育所への入園を待機する児童が増加しています。このような社会構造の変化に伴い、保育所の新設や改修等の対応が早急に求められています。

本宮保育園の建設地は、盛岡盛南開発に伴い日々その環境が変わっております。施設の移転に伴う改築ですが、子どもをとりまく諸々の環境に対し十分配慮し、次の世代を担う子どもたちへの安全で快適な保育環境の整備を目指しました。

平面図 a plan

■1階平面図



子どもたちの生活の場としての施設づくり

自然の光を十分に取込むことを考え、遊戯室には高窓(ハイサイドライト)を設けて明るい室内にしました。また、燃えしろ設計^{※1}による準耐火建築物構造で木のぬくもりを十分感じられる空間を創造いたしました。



遊戯室(ハイサイドライト)

子どもたちの安全・安心に配慮した施設づくり

人目に付きやすい位置への門扉の設置や園庭を一望できるように職員室を配置することにより、来園者を早期に確認でき、園児の安全にも目を配れるようにいたしました。また、耐震性や耐火性能の確保も十分に確保するなど、様々な防犯・防災面への配慮をし、皆様が安心して利用していただける環境を目指しました。



遊戯室(大断面構造集成材45分準耐火構造)

使いやすさと配慮した施設づくり

給食を台車にて運搬できる近接配置や随所へのユニバーサルデザインの徹底など、子どもたちの生活の場を提供する職員の方々にも、快適に過ごしていただけるよう機能性にも配慮しました。さらに、経済性にも優れた高機密高断熱化による暖房負担の低減や、自然エネルギーの有効利用を考慮するなど、環境への配慮と共にコストの軽減にもつながりました。



格子戸付引違戸(3枚式)

※1 燃えしろ設計：

燃えしろを省いた有効断面を用いて許容応力度計算を行い、表面部分が燃えても構造耐力上支障のないことを確かめる方法であるため、通常より柱を太くすることとなります。

■必要な燃えしろの厚さ

柱、梁の部材 (JASに適合するもの)	必要な燃えしろ		
	30分	45分	60分
集成材、単板積層材	25mm	35mm	45mm
製材(含水率15%等)	30mm	45mm	60mm



廊下



正面玄関



0～1歳児保育室



オムツはずしトレーニングトイレ



社会福祉法人 岩手町社会福祉協議会 川口保育所

施 工 地 / 岩手県岩手郡岩手町大字川口
第16地割26-4

竣工年月日 / 平成19年4月

敷地面積 / 4,833.11m²

延床面積 / 693.15m²

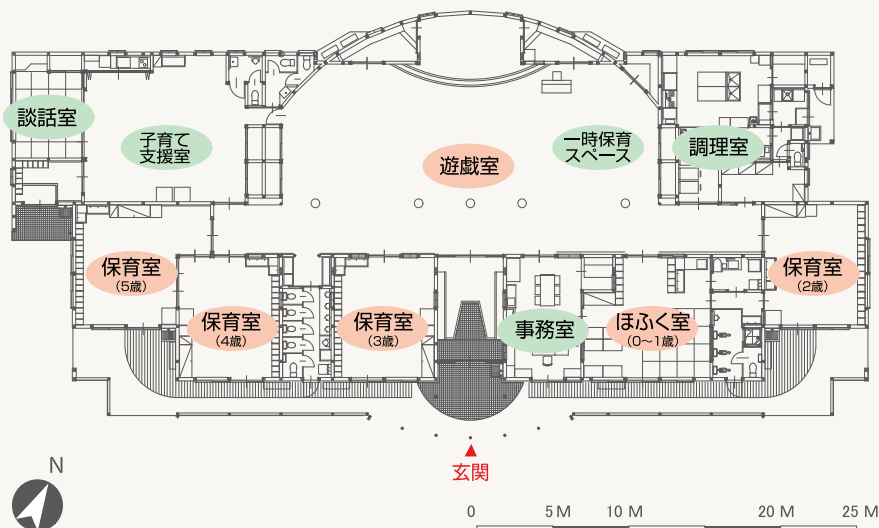
構 造 / 木造平屋建

子どもの成長を見守り続ける施設づくり

この施設の特徴として、保育所と子育て支援センターの併設により、在宅子育て支援や学童保育支援サービスがひとつの施設で行なうことができるようになりました。

そして、親がわりとしての保育士のみなさんが幼児期から小学生までの成長過程を見守り、よき相談相手として地域全体の子どもたちの調和を図れる施設計画といたしました。

平面図 a plan



開放的な保育環境を目指して

園舎の中央に位置する遊戯室は、元気に駆け回る子どもたちの活動の場となります。園児たちが日々伸びやかに生活するスペースとして、トップサイドライトから自然の光を十分に取り込める、開放感溢れる空間としました。また、みんなでお弁当を食べたり、地域交流や保護者のミニ集会、発表会の控え室など、多目的でオープンな用途に使用できる環境としています。

保育室も三面からの出入り口を設けることにより、明るく開放感一杯の室内となりました。また、遊戯室との境を4枚の引き戸で仕切る事により、発表会などの臨時客席にも一体利用が可能な空間として対応できるようにいたしました。



外観



ほふく室(0~1歳)

安心で快適な環境づくり

子どもたちが利用する出入り口には引き戸を採用するほか、サッシなどの指詰め処理や、園舎内の出隅部分は衝突時の安全に配慮し、丸みをもたせるなどの生活事故を未然に防ぐための安全環境の整備にも配慮しました。

また、園舎内の暖房は床暖房方式を採用し、やけどなどの事故を防ぐとともに、日々子どもたちが自由に寝転んだり、座って手遊びをしたりなどの行動の巾が広がるような空間づくりを目指しました。



遊戯室

地域と共に作る セキュリティの提案

管理部門となる事務室を園舎入り口の内部と外部、どちらも見渡せる位置に配置することで、園地内への来客者を一元的に確認するとともに、園舎及び園庭全体の気配が感じ取れるようにしました。

また、外部との境は塀によって囲い込むのではなく、垣根にすることにより周辺からの視認性をよくし、地域の目による地域ぐるみの防犯が行える計画を目指しました。

前面道路沿いには、送迎車待避所を設けることで子どもたちの登下園時の安全と、アクセスの明確化を図るなど、日々園児や保護者の皆様が安心して利用していただけるよう、様々な面でセキュリティの提案を行っています。



遊戯室(ステージ)



子育て支援室



学校法人つばめ学園 つばめ幼稚園

工藤園長先生からのメッセージ

新園舎の建て替えにおきましては、子どもたちが充実した楽しい幼稚園生活を送るために知恵を絞り集め、明るく、冬は暖かく、夏には風が流れ、木のやさしい感触に触れ、全クラスが1階にありクラスから園庭に出て遊べて、友だちとかかわりながら遊びが思う存分展開されるような様々なことに配慮致しました。ぜひ当園を見ていただきたいと思いますので、どうぞいつでも、見学にいらして下さい。

施工地／岩手県滝沢市牧野林 1030-2 竣工年月日／平成16年3月 敷地面積／5,174.00㎡
構造／木造2階建 延床面積／1,395.00㎡

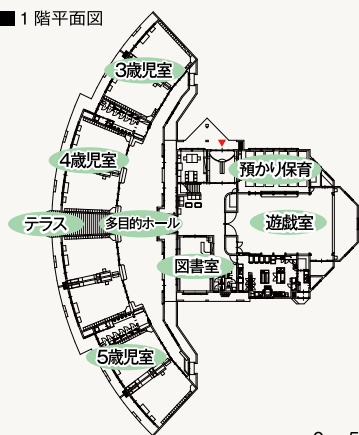
笑顔の絶えない明るい環境の創造

幼児期に思う存分遊ぶことが豊かな人間性を育むといわれます。つばめ幼稚園では子どもたちが自分で考え工夫しながらのびのびと遊びができる環境を常に目指しており、新園舎においてはその環境の実現を目指して取り組みました。

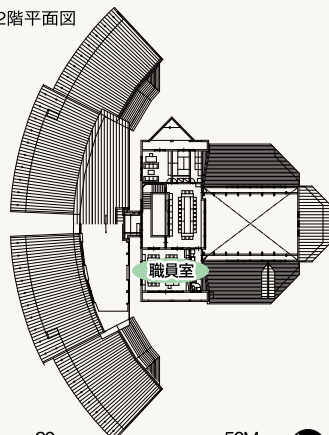
園舎外観の素材は周囲の景観に圧迫感を与えないよう、木材などの自然素材を多用してその風合いを生かし派手な色彩とならないようにしております。また内部も同様に木材をふんだんに用いて自然の持つやさしさ、ぬくもりを表現し、園内に光と風を取り込むことで自然と戯れながら遊ぶことのできる空間といたしました。

平面図 a plan

■ 1階平面図



■ 2階平面図



0 5 10 20 50M



自然の積極的利用と省エネルギー

遊戯室・多目的ホールには自然の光を十分に取り込むことができるよう、高窓（ハイサイドライト）を設けて明るく開放感ある室内となるようにし、ハイサイドライトを開放することで心地よい自然通風も確保されています。水資源の有効利用としてトイレ洗浄水には井戸水を活用し、また建材にはVOCを含まない木材などの自然素材を多く用い、資源の有効活用と子どもたちの安全への配慮による快適な空間を実現いたしております。

安心で快適な環境づくり

子どもたちが利用する出入り口には引き戸を採用するほか、サッシなどの指詰め処理や、園舎内の出隅部分は衝突時の安全に配慮し、丸みをもたせるなどの生活事故を未然に防ぐための安全環境の整備にも配慮しました。

また、園舎内の暖房は床暖房方式を採用し、やけどなどの事故を防ぐとともに、日々子どもたちが自由に寝転んだり、座って手遊びをしたりなどの行動の幅が広がるような空間づくりを目指しました。

開放的な空間

園児室は園庭と接する南向きとなる計画とし、採光に恵まれた明るい保育環境を形成しております。また園庭への出入り部分には広いウッドデッキのテラスを設け、園舎内だけではなくテラスも一体とし広々とした空間としております。テラスを介して園庭と連続しているため、子どもたちが抵抗なく外に出て遊ぶことが可能となっております。



遊戯室



遊戯室（ハイサイドライト）



多目的ホール



5歳児室



テラス



くるんば図書スペース



玄関ホール



岩手町立 水堀保育所

施工地／岩手県岩手郡岩手町大字沼宮内
第20地割6番地1

竣工年月／平成21年10月

敷地面積／2,125.31m²

延床面積／284.10m²

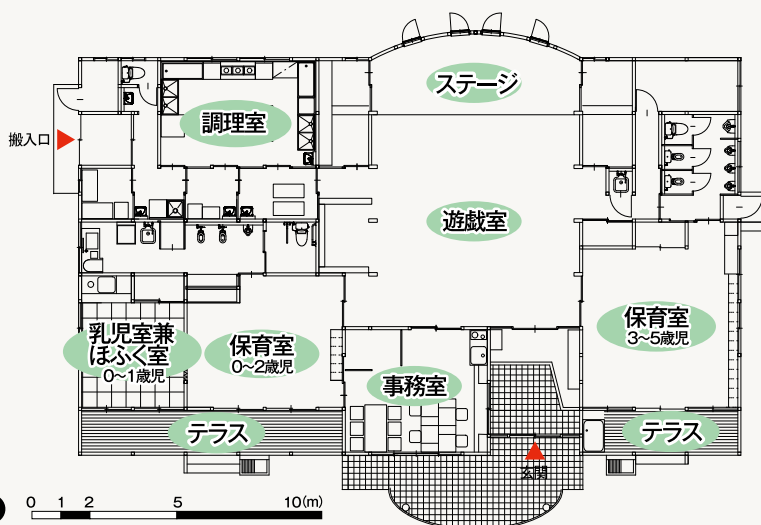
構造／木造平屋建

子どもたちの笑顔のために

岩手町立水堀保育所は昭和42年に地域の子育てを支える施設として建設され、約40年にわたりその役割を担ってきましたが最近では老朽化が著しく新しい施設が待ち望まれておりました。

また子どもたちをとりまく環境も大きく変化したし、入所児童の低年齢化に伴う新たな保育ニーズへの対応や安心・安全な保育環境の整備が求められ、これらを踏まえ十分な保育サービスの提供を実現するため水堀保育所は改築されました。

■ 平面図



開放感あふれる空間

園舎の中央に位置する遊戯室は、元気に駆け回る子どもたちの活動の場となります。園児たちが日々のびやかに生活するスペースとして、高窓から降注ぐ陽光・通風により明るく快適な開放感あふれる空間となっております。

また主要な居室は遊戯室を取り囲むように配置し、廊下を介さないことで施設内の面積の有効利用を図る計画としました。



遊戯室



遊戯室(ステージ)

安心で快適な環境づくり

子どもたちが利用する出入り口には引き戸を採用するほか、サッシなどには指詰め防止加工を施し、ガラスは通常の3倍の強度を持ち耐震性に優れ、万が一わかれても破片が粒状になり鋭利な状態になりにくい安全なものを採用し、また園舎内の出隅部分は衝突時の安全に配慮し丸みをもたせるなど生活事故を未然に防ぐための安全環境の整備に努めました。

園舎内の暖房は主に床暖房方式を採用しやけどなどの事故を防ぐとともに、日々子どもたちが自由に寝転んだり座って手遊びをしたりなど行動の幅が広がるような空間作りを目指しました。



保育室



乳児室兼ほふく室

セキュリティーの提案

管理部門となる事務室は園舎入り口横に設け正門や駐車場、正面玄関を見渡せる位置に配置し園地内への来客者を一元的に確認できる計画としました。

また内部においても保育室や遊戯室に常に職員が目が行き届く、安全に十分考慮した配置となっております。



テラス



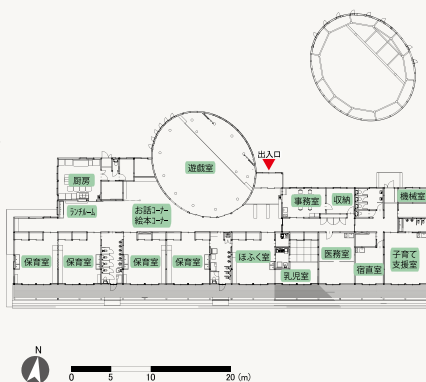
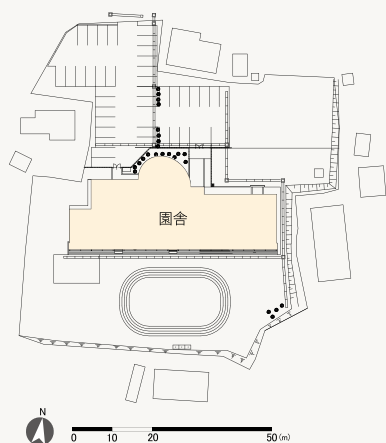
社会福祉法人 大谷会 おひさま保育園

施工地 / 岩手県花巻市上根子字米倉220-2
竣工年月 / 平成24年3月
敷地面積 / 4,884.47㎡
延床面積 / 746.44㎡
構造 / 木造平屋建

笑顔の絶えない保育園

平成24年4月、岩手県花巻市の郊外に開園いたしました「おひさま保育園」は社会福祉法人大谷会様が運営する定員60名の新設の認可保育所です。豊かな自然環境に恵まれる本施設は、周囲との調和を考慮し落ち着いたある明るい色彩計画としながらも、水平的な園舎において円形状の遊戯室を施設中央部に配置し、子どもたちをやさしく迎える柔らかさと、温かみのある外観デザインとしました。本園がお日様のようにいつもあたたかく笑顔で子どもたち包み込み、保護者の皆様・地域の方々にいつまでも愛される施設となることを目指し設計に取り組みました。

平面図



明るく開放的な空間

内部は随所に木材を多用し自然素材が持つ優しさを表現し、園舎全体が木のぬくもりを充分に感じられる施設となっております。元気に駆け回る子どもたちの遊びの場となる遊戯室は、高窓から降り注ぐ陽光・通風により明るく快適な解放感あふれる空間とし、保育室は園庭に接する南向きとして採光に恵まれた明るい保育環境を形成しております。また保育室には広いウッドデッキのテラスを設け、テラスを介した保育室から園庭への連続した遊びの空間を構築しております。

生活空間への配慮

本施設においては、子どもたちが安全で快適に過ごすことができるよう、きめ細やかな配慮に心掛け計画をいたしました。下足入れやロッカーなどの家具サイズや、トイレ・水道設備の高さや巾を細やかに設定し、子どもたちの体に応じたモジュールで計画をしました。諸室の出入り口には事故の少ない指詰防止加工を施した引き戸を用い、保育室の床にはクッション性のあるフローリングを採用し安全性に努めております。寒冷地における冬期間の対策として、保育室・遊戯室・廊下には床暖房設備を設け床からの暖かさにより素足で過ごせる柔らかな保育環境を構築しております。また玄関口付近とウッドデッキ付近の屋根には融雪ヒーターを敷設し子どもたちの安全性に配慮しました。



遊戯室ステージ



遊戯室



保育室



おもちゃコーナー



ウッドデッキ



指狭み防止建具



1～2歳児用トイレ



社会福祉法人 矢巾親和会 不動保育園

施 工 地／岩手県紫波郡矢巾町室岡9-55-1
 竣工年月／平成25年11月
 敷地面積／5,017.24㎡
 延床面積／935.67㎡
 構 造／木造2階建

子どもの成長を見守り続けて55年!

子どもたちの「かわいい笑顔」と「楽しそうな遊び声」がよく似合う保育園が誕生しました。

昭和36年の創園から地域の子どもたちを育て親しまれてきた不動保育園は、平成18年に社会福祉法人矢巾親和会様に運営・管理が移管され、矢巾親和会様の基本方針のもと「子どもたちの笑顔と輝く未来」のため、家庭や地域社会と連携を図りながら、養護と教育を一体とした子どもたち一人ひとりにあわせた保育を行い、健康な体と豊かな人間性を育てまいりました。

自然豊かな田園地帯に建つ新園舎は、周辺環境との調和に配慮し華美な装飾を抑えながらも随所に曲面を用いて、毎日通園する子どもたちをやさしく迎え入れる柔らかさや温かみのある外観デザインとし、内部は随所に木材を採用し自然素材が持つ優しさを表し、園舎全体が木のぬくもりを充分に感じられる施設となっております。

元気に駆け回る子どもたちの遊びの場となる遊戯室は、高窓から降り注ぐ陽光・通風により明るく快適な解放感あふれる空間とし、保育室は園庭に接する東向きとして、テラスを介した保育室から園庭への連続した遊びの空間を構築しております。



平成25年10月におこなわれた運動会の会場にて、新園舎の完成を祝う餅まきイベントを行いました。当日は、園児やご父兄の方々だけではなく近隣の皆様にもご参加いただき、新園舎のお披露目会となりました。

快適な保育環境

本園においては子どもたちが安全で快適に過ごすことができるよう細やかな配慮に心掛け計画をしました。

下足入れやロッカーなどの家具サイズやトイレ・水道設備の高さや巾を細やかに設定し、子どもたちの体に合ったモジュールで計画をしました。諸室の出入り口には事故の少ない指詰防止加工を施した引き戸を用い、乳児室の床にはクッション性のある床材を採用し安全性に努めております。

寒冷地における冬期間の対策として乳児室・遊戯室・玄関ホールには床暖房設備を設け床からの暖かさにより素足で過ごせる柔らかな保育環境を構築しております。また玄関口付近の「屋根には融雪ヒーターを敷設し」子どもたちの安全性に配慮しました。



玄関ホール



乳児室



2~3歳児用トイレ

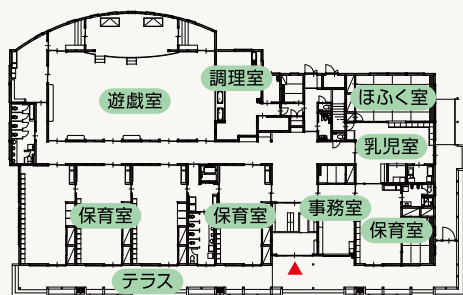


遊戯室

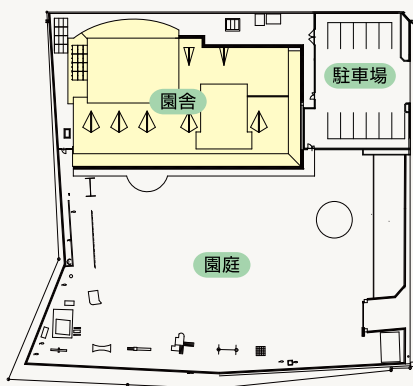


保育室

平面図



1階平面図



配置図





社会福祉法人 大沢愛育会 大沢保育園

施 工 地／岩手県下閉伊郡山田町大沢8-19-2
竣工年月／平成25年3月
敷地面積／1,099.7²m²
延床面積／340.9²m²
構 造／木造平屋建

ご支援を心から『ありがとうございます』

岩手県沿岸部の陸中海岸中央部に位置する山田町は、沖合に親潮と黒潮が交差する世界でも有数の漁場を有し、牡蠣やホタテなどの養殖漁業を中心とした、豊かな海洋資源に恵まれる漁業の町であります。平成23年3月の東日本大震災では津波とその後に発生した火災により甚大な被害を受けましたが、現在は世界各国の支援や日本全国の皆様からのご支援により、復興の歩みを着実に進めております。

山田町大沢地区にある、社会福祉法人大沢愛育会様の大沢保育園は、東日本大震災で園内に津波が押し寄せ、建物の一部が浸水し、また地盤沈下に伴い施設が傾くなど、築後50年が経つ園舎は大きな被害を受けました。震災から2年が経過した平成25年3月に誕生し再開した大沢保育園新園舎は、台湾赤十字組織より日本赤十字社に寄せた海外救援金や、岩手県と交流提携を結んでいるドイツのラインライト・プファルツ州からの支援金により、総工費全額のご支援をいただき竣工することができました。子どもたちの笑顔が戻ってきた新園舎です。ご支援を心から「ありがとうございます」。



平成25年3月21日に大沢保育園の竣工記念式典が行われました。式典では台湾赤十字組織の代表の方にもご来園いただき、支援に対する感謝状を贈らせていただきました。出席された、台湾赤十字組織の季鴻鈞(リー・ホンジュン)理事は「2年が過ぎ、ある程度は落ち着いたように見えるが、復興にはまだ時間がかかる。台湾は今後もできる限りの応援を続けていく」と述べられました。また園児たちが多くの支援に感謝を込め歌と踊りを披露いたしました。

安全に使いやすく

被災地での新園舎の建替えでは災害に備える施設計画に配慮しました。敷地は最大で約5mの嵩上げをし津波の浸水に備え、仮に園舎内まで津波が来た場合でも高い位置での避難をするため遊戯室の上部にキャットウォークを設けました。キャットウォークからは湾内を一望でき外部の状況を容易に把握できる施設となっています。また安全に加えて利便性にも配慮しました。限られた敷地での計画のため遊戯室には昇降式ステージを設置、約30cmのステージとして歌や踊りを披露する発表の場となり、日常はステージを下げ子どもたちが駆け回る広い遊戯室となります。



玄関



乳児ほふく室



遊戯室(昇降式ステージ)

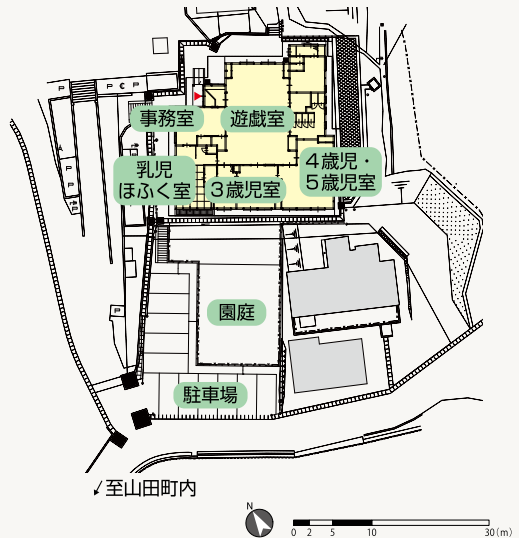


4歳児・5歳児室



3歳児室

平面図・配置図



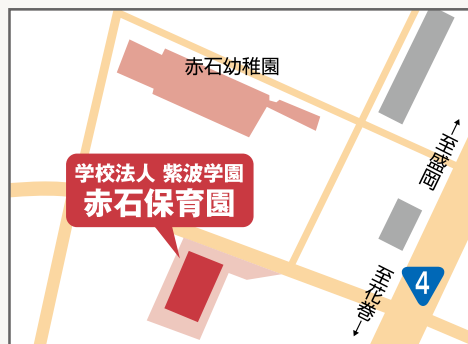
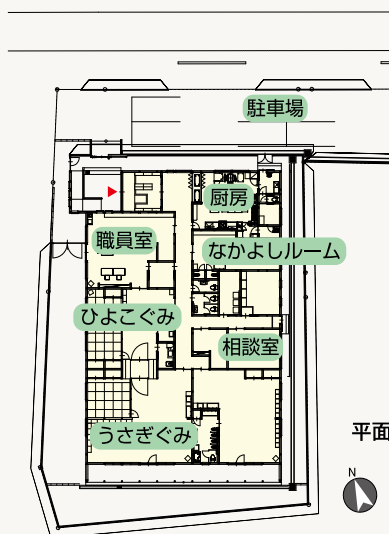


学校法人 紫波学園 赤石保育園

施工地／岩手県紫波郡紫波町南日詰
字箱清水160-1
竣工年月／平成26年10月
敷地面積／1,299.44m²
延床面積／577.18m²
構 造／木造平屋建

健やかな成長を願い

子どもたちが「のびのびと過ごす」あかるく家庭的な保育園が誕生しました。昭和39年の赤石幼稚園開設以来、地域の子どもの成長を支え見守ってきました学校法人紫波学園様は、近年の急速な少子化の進行や家庭・地域を取り巻く環境の変化の中、この地域での待機児童解消など保護者や地域の多様なニーズに応えるため、幼稚園の他に80人の子どもたちを受け入れる「赤石保育園」を新たに整備いたしました。本園は保護者の就労の有無にかかわらず、小学校就学前の子どもたちに、保育と教育を一体的に行う認定こども園として、地域の子育て家庭へのサポートと、子どもたちを優しく育む施設として、平成27年4月に開園いたしました。



平面図と周辺地図



明るく快適な 保育環境の構築

本園の計画においては、子どもたちの多様な生活を支える心地よい空間づくりに配慮し設計いたしました。玄関ホールから続く中廊下は、トップライトから降りそそぐ柔らかな明るい自然光により子どもたちを優しく迎え入れ、木の温もりが感じられるよう木質化に努めた諸室とともに明るく落ち着いた空間となっております。保育室内のロッカーなどの家具サイズやトイレ・水道設備の高さや巾は細やかに設定し、子どもたちの体に応じた仕様で計画いたしました。寒冷地における冬期間の対策として保育室には床暖房設備を設け、床からの暖かさにより素足で過ごせる柔らかな保育環境を構築しております。また園舎屋根の南面には自然エネルギーの積極的活用として10kw出力の太陽光発電パネルを設置しました。発電された電気は園内の照明設備等に利用し、省エネルギーに努めながらCO₂の削減に寄与する地球環境に優しい保育園であります。



玄関



中廊下(トップライト)



相談室



うさぎぐみ



ばんだぐみ



園児用トイレ



なかよしルーム(一時預室)



ひよこぐみ



厨房



矢巾町立

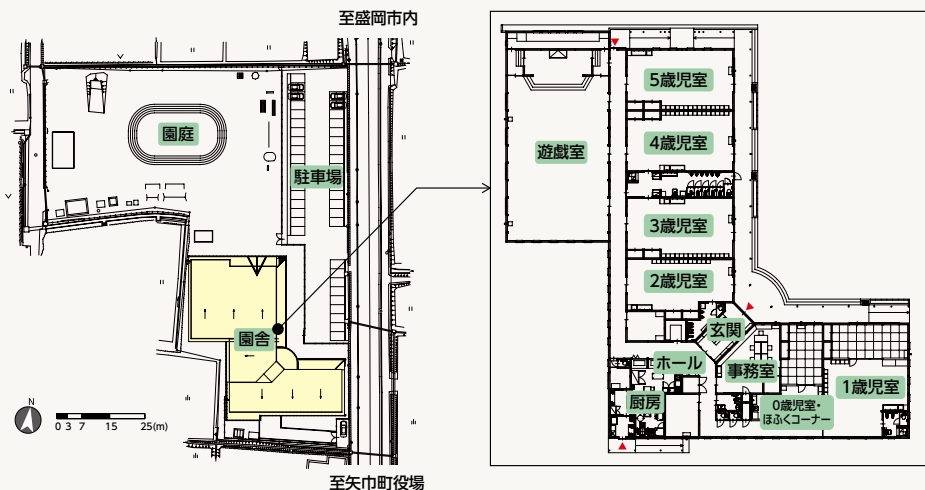
けむやま ほいくえん 煙山保育園

施工地 / 岩手県紫波郡矢巾町
大字上矢次第6地割45-1
竣工年月 / 平成26年12月
敷地面積 / 6,323.37m²
延床面積 / 996.10m²
構造 / 木造平屋建

心と体の成長を見守り

昭和37年の創園より50年以上にわたり子どもたちの健やかな成長を見守り続けてきました矢巾町立煙山保育園の旧園舎は、建築後約40年が経過し設備の老朽化や狭隘化が顕著となり、耐震面での安全対策の必要性などから新しい施設への建替えが待ち望まれておりました。また入園幼児の低年齢化に伴う多様な保育ニーズへの対応や安心・安全な保育環境の構築、入園待機幼児解消のための施設整備など、これらを踏まえた十分な保育サービスの提供を行うため、平成26年12月に多くの子どもたちと共に輝く未来に向け歩み始めました。

配置図・平面図



充実の保育環境

園舎内は子どもたちの多様な生活を支える安全な心地よい空間作りをおこないました。木造園舎の保育室や遊戯室は木の温もりが感じられる落ち着いた空間とし、ハイサイドライトから降りそそぐ陽光が、優しく子どもたちを包み込む明るくのびやかな環境を構築しました。また保育室は蓄熱式床暖房方式を採用し、やけど等の生活事故が発生しない快適な室内環境を整備するとともに、環境への配慮として太陽光発電設備や蓄電システム等を設置し環境負荷の低減に努めております。管理部門となる事務室は玄関に隣接させ駐車場や来園者を一元的に確認できる配置とし、管理のしやすさと利便性に配慮する諸室構成としました。屋根に曲線を取り入れた個性ある園舎は、園庭に対して下屋空間を設け、施設内外を一体的に利用する連続した子どもたちの生活と遊びの場を提供します。

立体的な3次元の図面表現

本園の設計においては建物形状を3次元化しながら様々な情報を一元管理する、BIMによる設計手法を用いて施設計画をいたしました。既存園舎を利用しながらの限られた敷地での建替計画では、設計初期段階において3次元コンセプトモデルを作成し、具体的な建物のイメージをプロジェクト内で共有し、複数案の比較検討を行い、計画を進めました。建物外観は子どもたちを優しく迎え入れる柔らかく温かみのある雰囲気となるよう外観シミュレーションを行うと共に、屋根等の詳細検討を3次元モデルで行い計画の整合性を図りました。2次元の図面だけでは伝わりづらい施設全体のイメージなど、園の皆様にも容易にご確認いただき、スムーズかつ的確な設計を行うことができました。



ホール



0歳児室・ほふくコーナー



1歳児室



3歳児室



遊戯室

BIMとは、(Building Information Modeling) ビルディング インフォメーション モデリングの略称で、コンピュータ上に作成した3次元の形状情報に加え、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等の建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築することです。建物情報モデルに蓄積された情報を活用することで、建築ビジネス業務の効率化、建築プロセスの変革が期待されています。



[基本設計時の外観イメージ]



葛巻町立葛巻小学校 屋内運動場

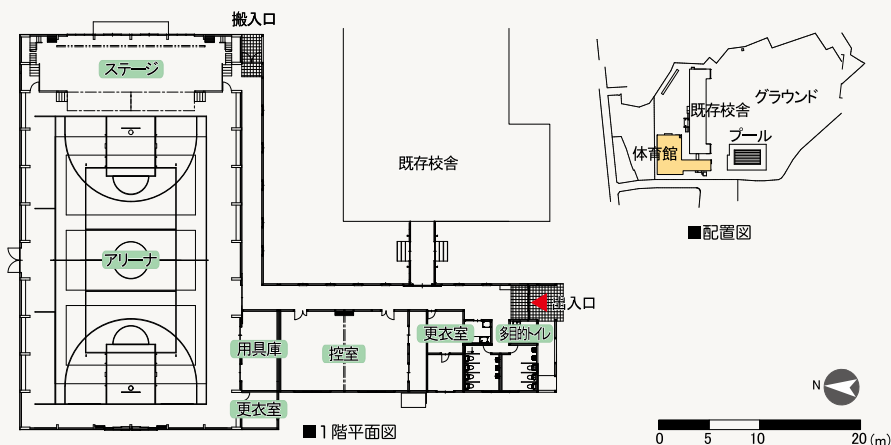
施工地／岩手県岩手郡葛巻町葛巻12地割37番地1
竣工年月／平成23年2月
敷地面積／20,983.00m²
延床面積／1,197.14m²
構造／木造平屋建

地域資源による施設造り

岩手県北部中央に位置する葛巻町は『北緯40度ミルクとワインとクリーンエネルギーの町くずまき』をキャッチフレーズに、豊かな大自然のもと酪農と林業を中心とする「光り輝くまちづくり」に取り組んでおります。特に、牛の頭数や牛乳生産量は東北一の規模・生産量を誇り、林業においては造林、伐採から木材の流通・加工まで地場産材を生かす地域林業の確立を図っております。

このたびの葛巻町立葛巻小学校の屋内運動場の改築におきましては、葛巻町特産のやまぶどうを原料としたくずまきワインの赤色と牛乳の白色をイメージする鮮やかな色彩計画とし、周辺に活気と賑わいを与える明るい施設造りに努めました。

平面図



地域に親しまれる 長寿命建築を目指し

新しい屋内運動場は葛巻町の豊富な木材を用いた木造平屋建とし、柱や梁には町産の唐松を原料とする大断面集成材を採用し、十分な耐震性を確保するとともに大スパンの広い空間を実現いたしております。

屋根は冬期間の積雪による施設への影響を考慮し、落雪を促すステンレス製三寸五分勾配の切妻屋根といたしました。屋根に雪が残らず積雪による加重を軽減することで、施設の長寿命化に配慮する計画としました。また、施設利用者の安全に配慮し校舎との間には極力落雪が無い屋根形状を採用いたしました。



屋内運動場全景（三寸五分勾配の切妻屋根）



落雪を促すステンレス屋根

機能的で快適な空間

屋内運動場の内部は葛巻町産の木材をふんだんに使用し自然の持つ優しさを表し、十分に木のぬくもりが感じられ、児童がのびのびと運動ができる空間の創造に努めました。

学校行事のみならず地域住民への一般開放や、災害時の拠点としての役割などを担う本施設は、利用者の利便性の向上に重点を置く計画としました。

アリーナ部分には床暖房設備を敷設し冬期間の利用に配慮し、ステージの音響や照明設備を充実し発表会や各種イベントにも対応、また多目的のトイレを設置するなどユニバーサルデザインを取り入れ、機能的で快適な環境を実現しました。



大断面集成材の柱・梁



控え室



大槌町立 大槌学園小中一貫教育校

施工地	岩手県上閉伊郡大槌町大槌第15地割71番地9	竣工年月	平成28年9月	敷地面積	24,348.83㎡
延床面積	校舎 8,873.62㎡ 屋内運動場 3,600.54㎡ 屋外プール 199.80㎡	構造	校舎 木造一部鉄筋コンクリート造・鉄骨造 屋内運動場 木造一部鉄筋コンクリート造 屋外プール FRP製	2階建	2階建

設計・監理 / (株)昭和設計・(株)久慈設計共同企業体

復興のシンボル担う新たな学び舎

東日本大震災で大きな被害を受けました岩手県大槌町に「まちの未来を担う子どもたちを育む」新たな学び舎が完成いたしました。

岩手県大槌町は、平成23年3月11日の東日本大震災で発生した津波により、大槌地区において小学校と中学校のあわせて5つの学校が大きな被害を受けました。平成23年9月にはプレハブ仮設校舎が建設され、臨時の校舎で学校生活が再開しましたが、学びの場としては充分なものとは言えず、一日も早い教育施設の完成は大槌町民の願いでありました。

平成28年4月には、仮設校舎内の各小中学校が統合して「大槌町立大槌学園小中一貫教育校」が開校し、岩手県内初の義務教育学校に移行、そして平成28年9月に大槌町民待望の「大槌町立大槌学園小中一貫教育校」の新校舎が完成いたしました。

大槌町立大槌学園小中一貫教育校新校舎は岩手県立大槌高校の隣接地に建ち、まちの新たな文教拠点として、子どもたちの豊かな人間性を育みながら、大槌町の復興を後押しするシンボリックな役割を担い新たな歴史を歩みだしました。

子どもたちを見守る 「木育」空間

新しく整備された大槌町立大槌学園小中一貫教育校新校舎は、校舎・屋内運動場・屋外プール等からなる総延床面積13,000㎡を超える**木造の学校**であります。建設に使用した木材の約60%は大槌町産のスギやカラマツを採用し、腰板やフローリング、構造用の集成材として柱や梁など校舎内随所に使用いたしました。5年間にも及ぶ応急プレハブ仮設校舎で頑張ってきた子どもたちにとって、郷土の自然の恵みが感じられる新校舎は、心と体ののびやかな成長を促すとともに、木が香る柔らかな空間として子どもたちをやさしく迎え入れます。



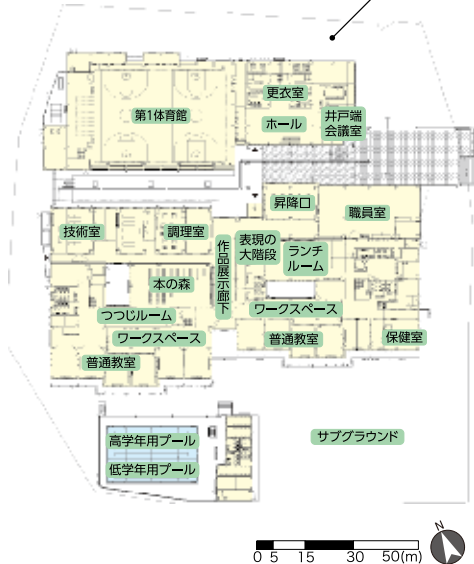
普通教室



ランチルーム

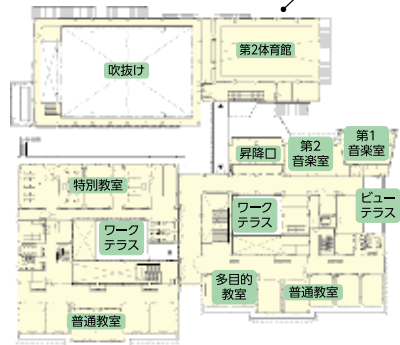
配置図・平面図

1階平面図



サブグラウンドからの新校舎

2階平面図



「豊かな育ち」と「確かな学び」

9年間の小中一貫教育を施設一体的に行う本校舎の建設事業においては、子どもたちの「豊かな育ち」と「確かな学び」を実現する空間や機能の構築を目指し計画しました。

1階中央に設けたメディアセンター「本の森」は図書室機能を中心にパソコン等の情報機器を設置し、いつでも利用可能な開放性の高い室として子どもたちの自主的な学びをサポートします。メディアセンター「本の森」に隣接する吹抜けの「つつじホール」は、グループ学習や地区ごとの集まりなど、児童生徒の日常的な集いや交流の場の役割を担います。ランチルームは給食利用だけでなく職員会議や町民活動にも利用可能とし、「表現の大階段」とともに学年ごとの発表会など刺激し合いながら学び合う空間といたしました。これらの諸室を学習活動の核と位置づけ、その周りに各教室が並び、8の字型に廊下が巡る変化に富んだ配置は、異学年同士の触れ合いを深めながら、子どもたちのいきいきとした学校生活を支え続けます。



メディアセンター「本の森」



表現の大階段



つつじルーム



2階からの表現の大階段



つつじルームから連続する中庭空間



作品展示廊下



ワークスペース

避難拠点機能の強化

避難拠点施設としての役割も担う本施設は、災害緊急時における学校機能の継続性と避難所機能の充実に配慮し計画いたしました。避難所として使用される屋内運動場棟は、校舎と明確に分離し敷地北側に設け、避難所エリアと学校エリアの区分利用可能な配置とし、大規模災害時に避難所機能を果たしながら早急に授業が再開できる計画としました。

内部は2つの体育館以外にも多目的室や更衣室を配置し、男女別のスペースを確保しやすい諸室構成としました。地域開放として設けた井戸端会議室やPTCA室にはそれぞれ専用の玄関を設置、避難時の下足置場として、また大量の物資搬入の大型玄関としてその機能を発揮します。施設周囲には停電時に46時間程度の電源を供給する80kVA出力の非常用発電機を設置しました。職員室に加え第1・第2体育館の照明と各コンセントへの電気供給を確保します。そのほかにも非常用の備蓄倉庫やマンホールトイレに対応する排水設備を設け避難所機能の強化に努めております。



第1体育館



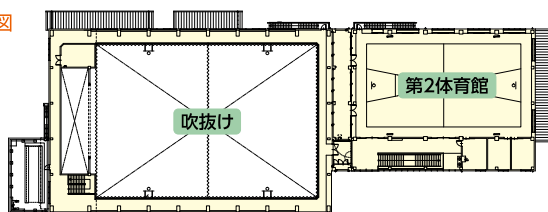
第2体育館



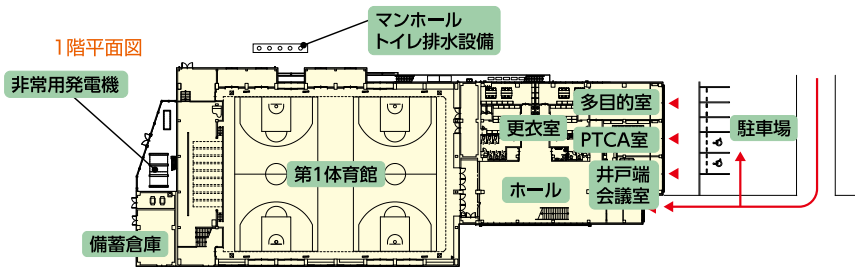
多目的室

配置図・平面図

2階平面図



1階平面図





葛巻町立 江刈小学校

施工地 / 岩手県岩手郡葛巻町江刈
第10地割206番地20

竣工年月 / 平成29年3月

敷地面積 / 15,603.00㎡

延床面積 / 校舎棟 1,296.58㎡

ボイラー棟 130.00㎡

構造 / 校舎棟 木造2階建

ボイラー棟 鉄骨造1階建

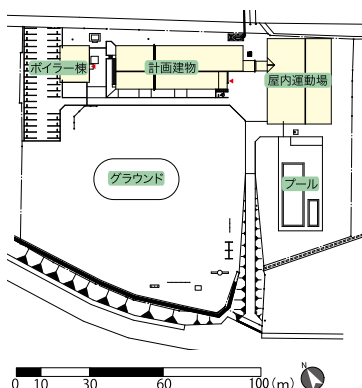
校舎全体がふるさと学習の空間

葛巻町立江刈小学校は明治9（1876）年に開校し、創立140年の歴史を刻みます。この度の改築においては、子どもたちが安心して学習することができ、地域の人たちがシンボルとして誇れる施設づくりをコンセプトに設計をいたしました。上棟式では地元の江刈保育園の園児も招かれ、半世紀後においても地域の財産となる宝物としての本施設の建設過程を記憶に刻みこみました。

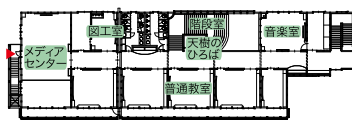
校舎は木造の2階建とし、壁面の構造には耐震性能が優れている3段たすき掛け筋交い（壁倍率11倍相当）の高耐力壁を採用いたしました。また子どもたちが学習中にも町産木材によるぬくもりに触られるように内外装材をはじめ、造作家具、木製建具にも利用いたしました。これにより町の基幹産業である林業の振興に貢献するとともに、校舎全体が子どもたちのふるさとを学ぶ機会となる空間となりました。

平面図・配置図

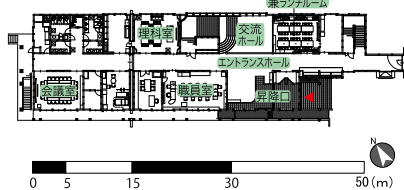
配置図



2階平面図



1階平面図



愛着がわく学習環境

施設は2階のバルコニーに町産木材を利用したルーバーを採用し、外壁は葛巻町の特産のワインの色彩を取り入れて個性をもたせた外観としました。内部は町産木材のカラマツ、アカマツ等のムク材を多用。高さ7mを超えるアカマツの大黒柱4本を立て木のぬくもりが十分に感じられるように配慮し、廊下は上部のハイサイドライトからの自然光が木漏れ日のように降り注ぐ明るい空間としました。昇降口から2階に続く吹き抜けの大階段は丸太柱を象徴とした学校の中心であります。一日に何度も教師と児童が親しく行き交い、全児童が集える交流ホールにも利用できます。また多くの時間を過ごす普通教室は木材に包まれてのびのびと過ごすことができるように計画し、愛着がわくような学習環境に設えました。



耐震性能に優れた耐力壁の3段たすき掛け筋交い



学校の中心を支える高さ7m超のアカマツの大黒柱

自然環境との調和

校舎内の暖房・給湯関係の熱源は地域で生産される木質バイオマスを燃料として別棟のボイラー棟のチップボイラーから供給されます。環境面でも自然との共生に配慮した施設としました。これらの設計により本施設は「いわて木材利用優良施設コンクール」において岩手県木材需要拡大協議会会長賞を受賞いたしました。



全児童が集合できる階段・交流ホール



ムクの丸太柱を用いた廊下



自然光あふれる2階「天樹(てんじゅ)のひろば」



町産木材にこだわった普通教室内



現場見学会で説明に耳を傾ける児童たち



校舎竣工を喜ぶ児童たち



平成29年6月20日
いわて木材利用優良施設コンクール「会長賞」表彰状



花巻市 大迫総合支所

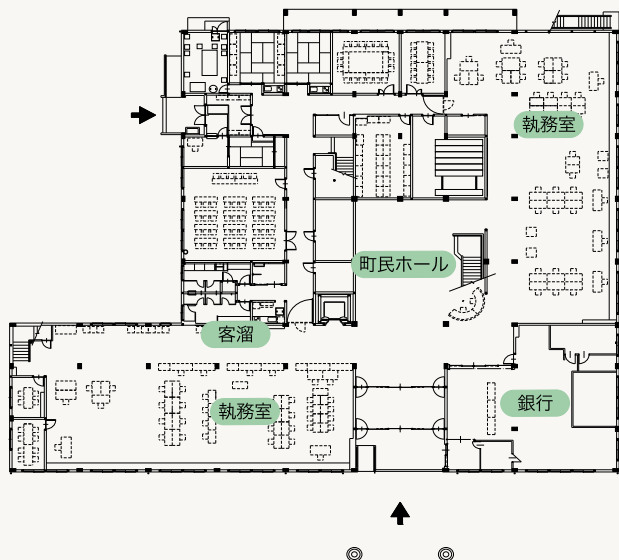
施工地／岩手県花巻市大迫町大迫
第2地割51-4
竣工年月／平成16年9月
敷地面積／6,432.64㎡
延床面積／2,891,28㎡
構造／木造2階建

周囲の環境と町の歴史を考慮した木造庁舎

岩手県大迫町は平成18(2006)年に花巻市と合併し、それに伴い大迫町役場新庁舎は花巻市大迫総合支所となりました。

旧大迫町は藩政時代からの宿場町として400年の歴史をもち、「早池峰山と神楽とワイン」の町です。北上山地の霊峰である早池峰山の雄大さを表現する大屋根が外観上の特徴であります。外壁には町特産のワインが縁で国際友好都市関係にあるオーストリアのベルンドルフ市のイメージを反映させた、欧州建築にみられる白壁と木組みを用いています。

平面図



木造建築の持つ、落ち着きとあたたかみのある庁舎

大迫町はまた、「林業」の町でもあります。構造躯体には唐松、内装材には杉や赤松を使い、すべて町産材を用いています。建物中央に位置するこの町民ホールは吹き抜けとなっており、太い柱や梁に建物の堅牢性を見ることが出来ます。



フレキシブルに対応できる執務室空間

庁舎建築には、多様化する組織に対応できる執務室空間が求められます。この建物は二方向ラーメン構造を採用し、間仕切壁を極力無くしたオープンフロアとすることにより、この問題を解決しております。



チップボイラーを熱源とする冷暖房設備

近年注目されている木質バイオマスエネルギーの活用として、チップボイラーを熱源とする冷暖房設備を採用しています。地球環境に配慮しつつ、町産材の活用にも役立っております。





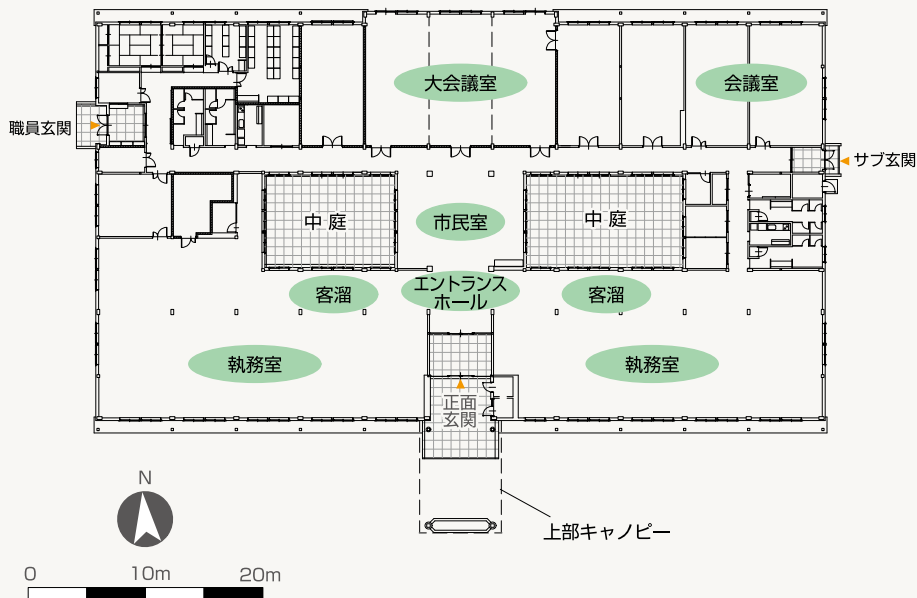
栗原市 栗駒総合支所

施工地／宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎
円鏡寺後155
竣工年月／平成17年5月
敷地面積／13,797.92㎡
延床面積／18,870.26㎡(729.2㎡)
構造／木造(鉄骨造)地上1階

地域風土と調和した施設づくり

外観デザインは、地元の秀峰栗駒山の山並みを切らないフォルムとし、故郷の原風景との調和を目指しました。平面計画は、建物中央のエントランスホールから庁舎内が容易に望められる配置とし、市民の利用のしやすさに配慮いたしました。

平面図



市民に開かれた施設を 目指して

職員と市民との密接な関係が築ける環境として、執務空間と客溜まり部分を、壁のないオープンな空間としました。また、正面玄関に隣接した市民室を設置し、誰もが気軽に利用できる施設を目指しました。



執務室と客溜

安らぎを生む 木造庁舎の創造

構造躯体は、地元産の杉・松を使用した大断面集成材を使用することで、柱の少ない広い空間と木に囲まれた安らぎのある空間を実現いたしました。平屋建の木造庁舎とすることにより、高度なバリアフリー化を図りました。さらに中庭を設け、変化に富む空間の提供はもとより、明るさや通風など快適な環境を創り出し、市民にやさしい木造庁舎を創造いたしました。



市民室

防災の拠点となる安心の 施設として

大断面集成材を利用した工法を採用し、地震時の防災の拠点として十分に機能するよう設計いたしました。また、木の柔軟性を生かし、永く快適に利用できる施設といたしました。



大会議室



中庭



正面玄関木組



地場産材をふんだんに用いた仕上



栗原市 栗駒保健センター

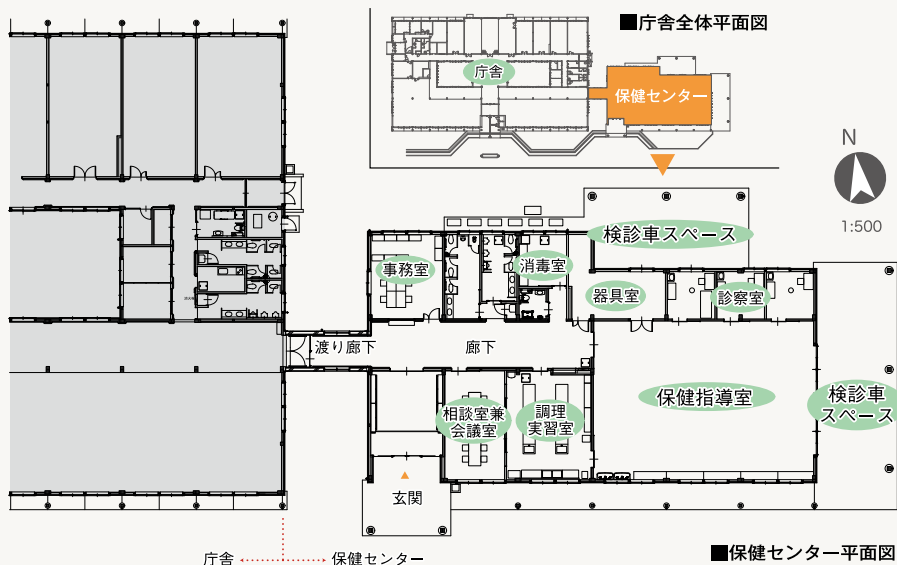
施工地／宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎
円鏡寺後155
竣工年月日／平成18年7月24日
敷地面積／13,797.92m²
延床面積／558.77m²
構造／木造地上1階

栗駒総合支所と一体となり防災拠点を目指した木造施設

栗原市栗駒保健センターは栗駒総合支所(平成17年5月竣工)の東側に増築しました。総合支所と保健センターは当初より一体の施設として計画され、外観や内外装材は同一の仕様となっております。

大断面集成材を使用した木構造平屋建となっており、主に地域産の杉・から松が使われております。総合支所を含めたこの施設は災害時における防災拠点の役割を求められており、地震に強い(柔軟性)、火災に強い(準耐火構造)といった大断面集成材を使用した木造建築物の利点を生かした建物となっております。

平面図



施設利用者にやさしい 空間を目指して

住民の集団検診の際には検診車が4～5台使われるといった事情から、建物東及び北面に雨の日の検診を考慮して検診車4台が入れる庇を設けております。この検診車スペースには検診を受けられる方が保健指導室並びに診察室から直接出入りすることが出来ます。

他にも各部屋のつながりや管理のしやすさ等について市の担当職員の意見を取り入れながら、施設利用者への利便性を図っております。

安らぎと快適さが調和した ユニバーサルデザイン

床面の段差無し、廊下などの手摺りの設置、トイレの仕様はもちろんのこと、弾性のある床材、出入り口の引戸採用等により高度なユニバーサルデザインとなっております。

躯体の断熱性能としては、外張り断熱工法や低放射複層硝子を使った高断熱サッシの採用などにより、次世代省エネルギー基準と同程度となっております。

仕上材に木材を多く用い、視覚的にもやわらかさと温かみのある施設となっております。



検診車スペース-1



検診車スペース-2



弾性のある床材と引き戸を採用した出入り口



隣接する栗駒総合支所庁舎



渡り廊下側から見た保健センター



花巻市 東和総合支所

施工地 / 岩手県花巻市東和町
土沢8区60番地
竣工年月 / 平成20年3月
敷地面積 / 4,453.08㎡
延床面積 / 2,390.64㎡
構造 / 1階 RC造
2・3階 木造

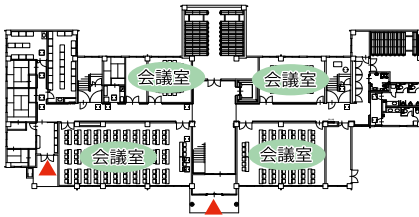
新しい町の活性化を目指して

岩手県東和町は平成18(2006)年に近隣の花巻市、大迫町、石鳥谷町が合併し、新たに花巻市東和町として新制の花巻市の町として歩み始めました。

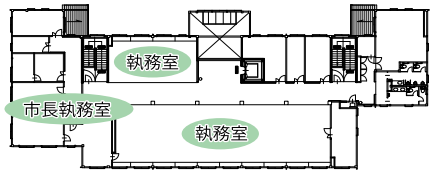
それに先立ち旧東和町の役場庁舎は築後50年が経過した庁舎であり、老朽化に伴う耐震性の問題などを抱え、早期の建替えが必要と考えられておりました。合併に際して旧役場庁舎は新市の総合支社として位置づけられることになり、平成20(2008)年に「東和地域の顔となる施設」、「地域住民と行政の協働を具現化する施設」、「事務効率が確保され、防災及び災害発生時のセンター機能を有する施設」をコンセプトに新たな街並みを生み出し、中心市街地の活力の向上を図る地域に開かれた利用しやすい庁舎として整備されました。

平面図

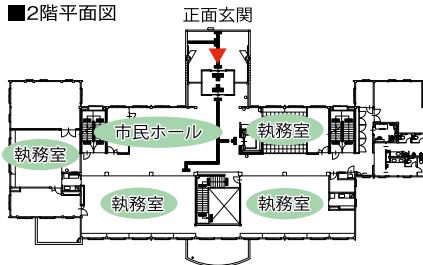
■ 1階平面図



■ 3階平面図



■ 2階平面図



0 5 10 20



市民の為の新しい環境づくり

新しい庁舎は地区中心部の活力維持を鑑み移転計画とはせず、既存敷地内での建替え計画とし敷地南側への配置としました。敷地北側には広く駐車場を設け、イベント時の広場的な利用が可能な地域コミュニティの場として活用できます。また隣接する街道沿いの商店街と一体となる多目的な利用により一層の地域の賑わいを創出する計画としました。

外観は地域との調和を考慮して切妻屋根とし2階、3階部分には温かみをかもしだす木目調、1階部分には安定感のある石調のサイディングを用い落ち着いた色彩計画としました。

庁舎へのアプローチは東西南北の多方面からとし、敷地の高低差を利用して車輛が進入する南側の1階と北側の2階部分に玄関出入口を設け、お年寄りから子どもまで全ての利用者の利便性の向上に配慮した施設となっております。

機能性を重視した空間

内部は自由なレイアウトを可能とする間仕切りのない連続した執務空間とし、利用者が一望でき左右対称で単純な分かり易い平面計画といたしました。

1階には地域協議会の活動拠点としての会議室を設け、時間外の利用を考慮してセキュリティに配慮し、住民と行政の協働を目指す場を計画しました。

2階には玄関出入口正面に多様な住民活動をサポートする市民ホールを配置しました。市民ホールは1階玄関出入口の吹抜けと連続する一体的な空間となり1階、2階玄関の連続性を演出する開放的なスペースとなっております。執務室は2階から3階にかけて配置し特に住民の利用頻度の高い諸室は2階に集中させて来庁者に使いやすい施設となるよう考慮いたしました。

地域の安全性への配慮

2階、3階部分は県産材を使用した大断面集成材による木造構造となっております。災害時のセンター機能を求められる施設として地震に強い(十分な耐震性)、火災に強い(準耐火構造)という大断面集成材を使用する木造建築物の利点を生かした建物となっております。



1階エントランスホール



2階エントランスホール



2階市民ホール



3階執務室



2階客溜まり



1階会議室



し わ ち ょ う 紫波町役場 新庁舎整備PFI事業

施工地／岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前二丁目3-1

竣工年月／平成27年3月

構造／木造一部鉄筋コンクリート造3階建

敷地面積／6,602.77m²

延床面積／6,650.49m²

- 4,444.88m²(木造棟)
- 2,205.56m²(鉄筋コンクリート造棟)

PFI事業会社／紫波シティホール株式会社

代表企業	橋建設(株)
建設企業(建築)	橋建設(株)
建設企業(建築)	佐々木建設(株)
建設企業(建築)	㈱十文字組
建設企業(建築)	紫波建設(株)
建設企業(電気設備)	㈱興和電設
建設企業(機械設備)	㈱富岡鉄工所
維持管理・運営企業	㈱寿広
設計・監理企業	㈱久慈設計

国内最大級の木造庁舎

岩手県紫波郡紫波町に完成しました紫波町役場新庁舎は、JR紫波中央駅前が開発が進む「オガールエリア」に位置し、公民連携による新たな都市像の創出「オガールプロジェクト(紫波中央駅前都市整備事業)」の一端を担う施設として整備されました。

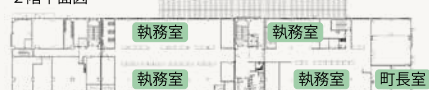
周辺施設との統一感を持たせた本庁舎は、木造と鉄筋コンクリート造の棟を連続して配置し、別棟解釈により面積制限を緩和した木造3階建の国内最大級(木造延床面積4,444.88m²)の行政庁舎です。木造部分の構造躯体には紫波町産のカラマツ材を活用し、1時間準耐火構造の燃えしろ設計により構造躯体をあらわし、内装のフローリングや腰板のほか外装の羽目板など内外装に町産木材を活用し木質化に努めました。「木質資源循環のまちづくり」を具現化する庁舎として、町のシンボリックな役割を担いながら、周辺施設との調和と機能的な連携を図り、賑わいある魅力あふれる街づくりに貢献いたします。

配置図兼1～3階平面図

3階平面図



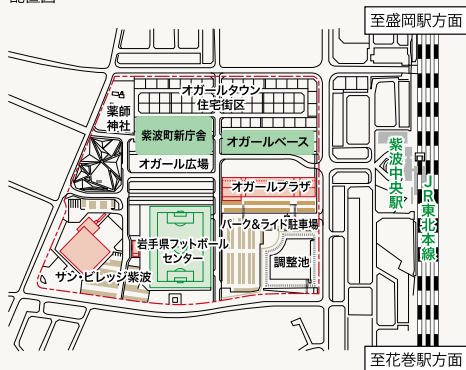
2階平面図



1階平面図



配置図



利便性と機能性の追求

新庁舎は来庁者の利便性の向上に加えて機能的な執務環境の構築を目指し計画しました。正面玄関の至近位置には庇のかかる車椅子利用者専用駐車場を設け、敷地内から内部においては段差のない動線を確認し、来庁されるすべての方をやさしくお迎えします。庁舎の顔となる1階窓口部門は紫波町らしさを表現するよう空間の木質化を図り、課の配置が一望できる見通しの良いワンフロア型を採用、座りながら手続きが行えるローカウンターを中心に業務ごとに色分けを行い、来庁者に分かり易い空間構成といたしました。執務スペースも同様にオープンフロアとして明るい執務環境としながら、将来の庁舎内機構の変化に伴うレイアウト変更などに柔軟に対応できるよう、2方向方杖付きラーメン架構とし施設の機能的なフレキシビリティも確保いたしました。

環境のまちにふさわしい庁舎

「環境を保全・創造するまちづくり」にふさわしい庁舎造りとして自然エネルギーの積極的な活用を行いました。庁舎屋上には20kw出力の太陽光発電パネルを設置し、発電による電気は庁舎内の照明設備等に利用、屋根に降った雨水はトイレの洗浄水として利用します。地域の熱源であるエネルギーステーション(木質バイオマスエネルギーによる熱源供給事業者)からは冷温水の供給を受け、庁舎の冷暖房設備の熱源として活用するなど環境共生型の庁舎整備を行いました。



鏡面仕上げフローリングの明るい待合スペース



床暖房設備により快適な「はつらつホール」



要所に木材を使用する明るい町長室



木立をイメージする大断面集成材の柱



岩手県建築士会主催の構造見学会にて



天井に町章を模した斜め格子梁の議場



96人を収容する大会議室



登米市 登米市消防署 西出張所

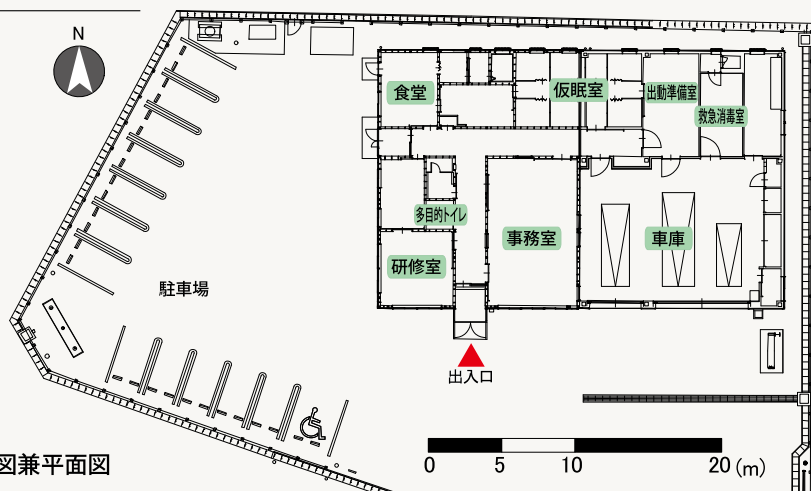
施工地／宮城県登米市南方町堤田38番地
竣工年月／平成24年3月
敷地面積／1,700.24㎡
延床面積／480.70㎡
構造／木造一部鉄骨造 平屋建

救急・消防機能の充実と強化

岩手県境に接する宮城県登米市は市民の安全・安心を確保する地域防災拠点施設の充実を図るため、管内の消防出張所の整備を進めております。登米市消防署西出張所はその整備事業計画に基づく最初の消防施設として建設され、将来計画される他の消防出張所のモデル施設として位置づけられております。

新しい登米市消防署西出張所は「登米市公共施設木造化・木質化指針」に基づき、登米市産の杉(津山杉)を用いた集成材による木造平屋建(一部鉄骨造)としました、地場産材の積極的な活用により、林業の振興と地域の木材産業の活性化に貢献する施設となっております。

平面図



機能的な諸室の構築

施設内部は緊急出動のための機能的な諸室構成に配慮し計画しました。緊急車両出動に重要な車庫は前面道路に面して設け、職員仮眠室と出動準備室は車庫至近の位置に配置し、迅速な出動に配慮する計画としました。また、帰署後にすばやく洗浄等の処置ができるよう消毒室は車庫に接する位置とし、効率的な作業環境を構築いたしました。

事務室や多目的利用となる研修室は執務環境を考慮し十分な採光が得られる南東側に配置し、来署者にわかりやすく利用しやすい位置としました。研修室は職員の打ち合わせ等の利用のほか、約20名程度までの講習や研修が行える会議室として利用できます、地域の消防団や自主防災組織の連絡会議の場として、または救命講習などの講習会場として、地域住民の防災意識の向上を図る役割を果たします。

災害時における拠点機能の強化

地震等の災害発生時において停電時の電力供給を確保するため、敷地内に非常用発電機を設置しました。緊急時の通信機能を維持し、救急初動体制を確保して、災害応急対策の拠点としての機能を維持確立する施設計画といたしました。また、東日本大震災の教訓を受け出入口付近に災害救援対応型自動販売機を設置しております、飲料水を確保し災害に備える施設となっております。



事務室



研修室



食堂



仮眠室



救急消毒室



出動準備室



多目的トイレ



花巻市大迫 交流活性化センター

施 工 地／岩手県花巻市大迫町
大迫第3地割161

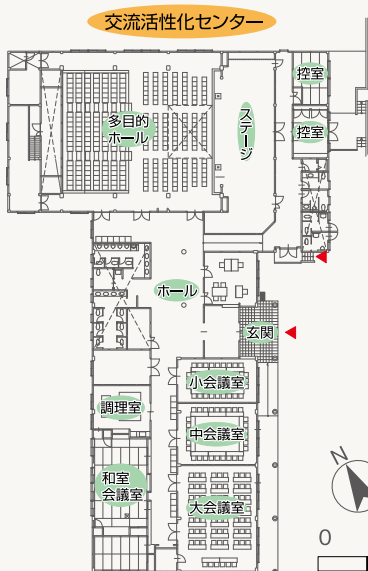
竣 工 年 月／平成19年7月
敷 地 面 積／3,440.28㎡

- 交流活性化センター
構 造／木造1階建
延 床 面 積／1,175.69㎡
- 早池峰と賢治の展示館
構 造／木造2階建
延 床 面 積／211.98㎡

賑わいある地域の集いの場を創造

花巻市大迫町は、遠野街道の宿場町として発展し、歴史や文化が生まれ、伝統・文化・芸能・産業そして自然に恵まれた宝の多い街です。その数ある魅力を引き出し、賑わいある街づくりの提案として、宝物との出会いや体験情報発信ができる場を創造いたしました。全面道路に面した多目的イベント広場を中心に、地域住民と来訪者の交流を促す交流活性化センターと、旧稗貫郡役所を復元した施設を計画するにあたり、地域の街並との調和を図った和風建築で趣きを表現しつつ、ユニバーサルデザインをふんだんに取り入れ、施設を利用する全ての皆様にやさしい施設計画といたしました。

平面図 a plan



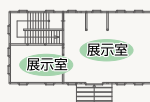
早池峰と賢治の展示館



■ 1階平面図



■ 2階平面図



交流活性化センター

歴史文化の継承と、新たな文化を生み出す交流活性化センターとして、中央に玄関やエントランスホールなどの共用部を設置し、利用される皆様に分かり易い配置としました。また管理室をエントランスに隣接させ、来館者への対応や管理などの利便性にも配慮しました。研修室や会議室につきましては、30帖の和室を設置することにより幅広い活動の場を提供し、大中会議室を隣接させ、多様な利用に備えました。

大迫文化をアピールする多目的ホール空間は木質で暖かみを表現し、機能の面でも移動観覧席140席分の設置や、電動昇降の床セリ上がりステージの設置、バックヤードもステージと段差の無い計画とし、搬入出に配慮するなど充実した設備を計画いたしました。



玄関ホール天井



固定ステージ・床セリ上がりステージ

環境にもやさしい コストの削減を計画

施設計画において、重要なランニングコストの削減に考慮いたしました。十分に日照を得られる配置設計で照明や冬期の暖房費などのコストを削減させ、風除室の設置や外断熱通気工法により高气密・高断熱化による空調負荷の低減を図りました。

改修、メンテナンスコストの削減についても、リサイクルを考慮した配管材料の選定や更新増設を考慮し大きめのパイプスペースを設置するなど、部位に応じたライフサイクルに配慮し、SI（スケルトン・インフィル）による長寿命建築を実現いたしました。



移動観覧席

旱池峰と賢治の展示館 (復元稗貫郡役所)

展示空間となるこの施設は、「宮沢賢治の童話「猫の事務所」」のモデルにもなったとされる旧稗貫郡役所を復元するにあたり、現存する木材を可能な限り利用し、外部、内部とも細部にわたり当時の意匠を踏襲し復元いたしました。

展示施設としての機能面でも、来館者の動線に配慮した施設中央への階段室の設置や外部スロープの設置、多目的便所の設置など、ユニバーサルデザインを多く取り入れ、利用される全ての皆様にやさしい施設づくりを目指しました。



展示室1



展示室2



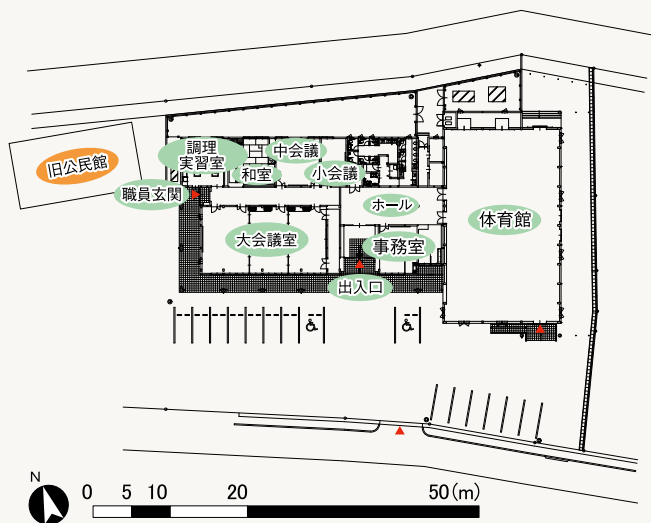
八幡平市立 大更コミュニティセンター

施工地 / 岩手県八幡平市大更第25地割55番地13
 竣工年月 / 平成21年7月
 敷地面積 / 2,925.00㎡
 延床面積 / 1,124.00㎡
 構 造 / 木造平屋建

地域文化の拠点を目指して

生涯学習の拠点施設づくりと地域住民のコミュニケーションの場の創造を目指し計画された大更コミュニティセンターはあらゆる人が利用しやすい施設としてユニバーサルデザインを取り入れ、多種多様な活動に対応し地域文化を発信する、賑わいある街づくりの中心施設として整備されました。南側前面道路に面する駐車場は隣接する旧公民館との繋がりを考慮して十分な広さを確保し、屋外イベントなどの多目的な利用による地域交流の促進を図るスペースとなっております。

平面図



自然の香り溢れる空間

外観は、周辺の自然豊かな景観と調和するよう木質系の材料を多用し地域コミュニティの中心施設として温かみと落ち着きのある計画といたしました。

また内部も同様に木材をふんだんに用い自然の持つ優しさを表現し、木のぬくもりが充分に感じとれる空間となっております。

構造は八幡平市産材の唐松を用いた大断面集成材の木造とし十分な耐震性の確保と大スパンの広い空間を実現いたしております。

地球にやさしい建築提案

施設の計画においてはコストの削減や維持管理などに配慮し取り組みました。

十分に日照を得られるようトップライトや高窓を設け採光による明るさを確保し冬季の暖房費等の削減に努め、玄関への風除室の設置や高い断熱仕様の外壁・ペアガラス・断熱サッシなどの採用により空調負荷を軽減しランニングコストの縮減を図っております。

また、軒の出の深い計画による外壁の保護や、構造体に比べて寿命の短い配管設備にはリサイクルを考慮した配管材料の選定など部位に応じたライフサイクルに配慮する長寿命建築を実現いたしました。



ホール



大会議室



中会議室



和室会議室



体育館



多目的トイレ



調理実習室



道の駅にしね

施工地／岩手県八幡平市大更2-154-36
 敷地面積／8,815.00㎡

■既存棟
 竣工年月日／平成8年4月
 延床面積／692.00㎡
 構造／木造平屋建

■増築棟
 竣工年月日／平成20年4月
 延床面積／301.00㎡
 構造／木造平屋建

地域に密着した温もりある空間

八幡平市西根地区は十和田八幡平国立公園の南玄関口に位置し、自然豊かな岩手山の麓、農業と観光を中心に町づくりに取り組んでいる地域です。農業においては稲作、畑作を中心に数多くの農産物を生産しており、なかでも昭和63年農林水産祭園芸部門で東北初の天皇賞を受賞した「ほうれん草」は全国でもトップクラスの品質と生産を誇っています。

この新鮮な「ほうれん草」「ながいも」「椎茸」などさまざまな農産物を数多く提供しているのが「道の駅にしね」です。



特産品コーナー



生産物直売コーナー

岩手の自然と共に

施設の外観は、新鮮な農産物を販売する場として、またその新鮮な採れたての食材を使ったおいしい食事を提供する場として最もふさわしい、農産物を育み続けてきた岩手山をモチーフにデザインいたしました。

内部においては木材を多く用い自然素材の持つ風合いを生かし、展示する商品がより引き立ち、木の温かみを感じる室内環境を目指して取り組みました。



木組梁部分



レストラン

心地よい集いのスペース

本施設は平成8年のオープン以来多くの方々にご利用いただき、現在では年間約30万人の方にお越しいただいております。一方でご利用者の増加に伴い店内が手狭になってきており十分な商品や品数を展示することができない状態となっていました。

そのため新たに別棟としてレストランを増築し、従来の食堂を展示コーナーやイベントなど多目的に使用できるスペースに衣替えし、より多くのお客様をお迎えする地産地消の中心施設として一層の充実を図りました。



ほうれん草



ほうれん草ラーメン



ほうれん草ソフトクリーム

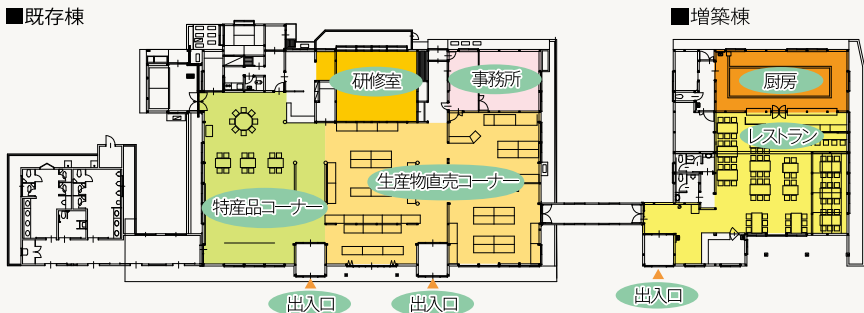


季節のきのこ



豊洋卵

平面図 a plan



道の駅「三滝堂」

みたきどう

施工地／宮城県登米市東町米谷字福平191-1

竣工年月／平成29年4月

敷地面積／5,580.9㎡

延床面積／714.97㎡(市) 358.85㎡(国)

構造／木造平屋建



期待される道の駅

道の駅「三滝堂」は宮城県内では13カ所目の道の駅として、登米市の三陸自動車道三滝堂インターチェンジ北側に隣接して開業されました。本施設は現在国土交通省が建設を進めて一部供用が開始されている三陸自動車道と一般国道398号の両方向から進入できる道の駅であり、宮城県内陸部と三陸海岸南部を中継する地点にあります。この道の駅「三滝堂」は人と物流のゲートウェイとして期待も高く持たれています。

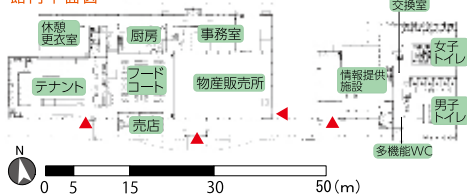
また、東日本大震災以降の道の駅はドライバーの休息・情報提供施設や地域活性化施設の枠を超え、緊急災害時の物資集積補給施設としての重要性も増しております。

地域住民、ドライバーの安全性確保のために本施設は太陽光発電と蓄電池や非常用電源装置、受水槽を整備して緊急災害時にも備えております。

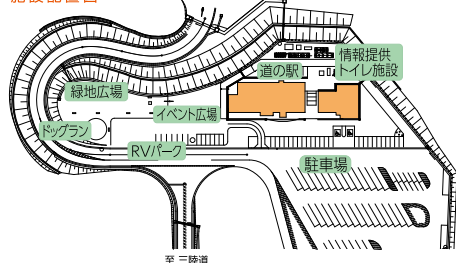
交流施設

平面図・配置図

館内平面図



施設配置図



地域活性化と交流に

登米市は第一次産業が盛んな地域でもあり森林資源も豊富です。その地域特性を施設の利用者にPRし、提供していく役割も本施設は担っております。建築物の構造や内装材、調度品など随所には優先的に木材が多用され、地元産のスギ材などを全体の約6割使用いたしました。木質感あふれるフードコートや売店では地元産の農産物や加工品が四季それぞれの味わいを提供して地元色豊かな楽しみの場でもあります。また、敷地内には小型犬から中・大型犬まで対応できるドッグランも設置され、広場ではイベントが開催できるスペースも設けております。緑地広場と合わせて家族で楽しんだり、誰もが地域の特色や情報に接して交流できるように計画いたしました。



木質感あふれるフードコート



陳列棚に利用される地元産材

誰もが快適な施設に

道の駅としての主機能である駐車場は大型車37台、小型車42台、思いやり駐車場3台、身障者用2台のほか近年人気が高まっているキャンピングカー等に電源供給可能なRVパークを6台分設置しております。

また女性用トイレは化粧用スペースも備えた広い空間を確保し、多機能トイレ、おむつ交換室も設置し施設を誰もが快適に利用できる配慮をしております。テナントには24時間営業のコンビニエンスストアも併設されて施設が終日無人になることなく安心快適に利用できます。

情報提供施設では最新道路情報や東日本大震災時の被災資料展示、周辺地域の観光情報等が提供されております。



小型犬から大型犬に対応したドッグラン



人気が高まるRVパーク



テナントの24時間営業コンビニ



屋根付きのやさしい
身障者用駐車場



化粧用スペースを備えた明るいトイレ



飯館村交流センター ふれ愛館

施工地／福島県相馬郡飯館村
草野字大師堂17

竣工年月／平成28年8月

敷地面積／8,506.90㎡

延床面積／1,495.00㎡

構造／鉄筋コンクリート造
一部木造 2階建

絆を結ぶ交流の拠点

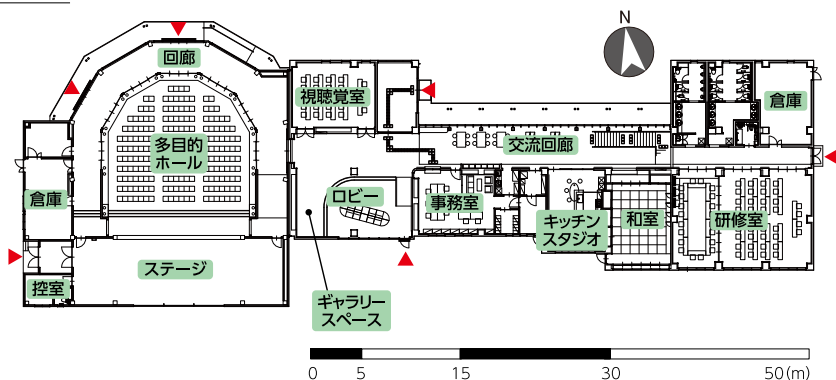
福島県飯館村は東日本大震災直後の福島原子力発電所の爆発事故により住民をはじめ、行政機能までもが村を離れるという事態に見舞われました。ふるさとを離れた村民が再び帰村し、地域文化とコミュニティの再生を図る集いの場が「交流センターふれ愛館」です。

飯館村の豊かな自然と共生し、村民同士がお互いをいたわりながら暮らす「まてい」の精神を具現化し、村の力強い復興を表現する施設として、飯館村のこれからのスタートにふさわしい明るい開放的な施設整備を行いました。

施設内は安らぎと賑わいの諸室で構成いたしました。ギャラリー空間を併設するロビーは待ち合わせなどの場として、木彫を中心としたインテリア空間の交流回廊はふれあいの場として来館者をお迎えいたします。また地域の食の情報発信基地としてのキッチンスタジオや研修室を配置し多様な活動を支える空間づくりに努めました。

※「まてい」とは、福島県地方の言葉で「心を込めて」・「丁寧に」という意味。

平面図



村を一つに結ぶ空間造り

最大300名を収容する多目的ホールは、充実した音響・照明設備を備え、コンサートや講習会など多目的な利用が可能です。観客席と一体感のある広いステージは、背面のスクリーンを開くと飯館村の美しい田園風景が広がり、村の豊かな自然が楽しめる空間といたしました。またホール内には村の復興のシンボルとして村内の20行政区を表す20本の丸太柱を採用しました。20本の柱が一つの大空間を生み出し、村民が一丸となり新たな飯館村を築いていく様を表現いたしております。



ステージ



ホール全景



ロビー



交流回廊



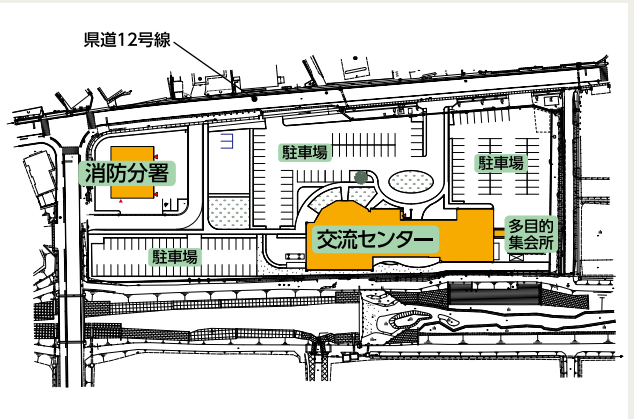
研修室



キッチンスタジオ



ホール後方





社会福祉法人 江刺寿生会

反町福祉パーク

そりまち さと
反町の郷

施工地／岩手県奥州市江刺区岩谷堂
字反町361番地1

竣工年月／平成24年7月

敷地面積／19,614.74㎡

延床面積／3,212.48㎡

構造／木造一部鉄筋コンクリート造

高齢者住宅／30床

ショートステイ／30床

デイサービス／30床

保育所定員／15名

安心・安全な生活環境の構築

高齢化が急速に進む中、高齢者が安心して生活できる住環境の充実は至近の課題であります。介護を必要とする方を受け入れてきた特別養護老人ホームは今でも多くの入所待機者があり、また高齢の単身者や夫婦のみの世帯が増加するなど、介護・医療が連携して高齢者を支援し、サービスを提供する住宅の確保が極めて重要となっております。

社会福祉法人江刺寿生会様はこれらの諸問題に応え、高齢者が住み慣れた地区で必要なサービスを受けながら暮らし続けることができる施設として、平成24年8月にサービス付き高齢者向け住宅にショートステイやデイサービスなどの高齢者生活支援施設を併設する、高齢者複合施設「反町福祉パーク 反町の郷」を開所いたしました。

サービス付き高齢者向け住宅は高齢者が居住できる賃貸の住まいです。全室個室のバリアフリー住宅で生活相談や安否確認サービスがあり、そのほかに洗濯・掃除の家事援助や入浴介助などの生活支援サービスが受けられ、要介護者はもちろん介護の必要がない方でも入所することができる施設です。



利用者を迎え入れる正面アプローチ



事業所内保育所の「さくらんぼほいくえん」

交流を生む明るい環境

施設内は住宅棟やデイサービス棟などの役割に応じた八つの棟で構成され、トップライトを設けた明るい中央廊下を介する単純化された動線により、利用者・職員にわかりやすく支援しやすい計画といたしました。

管理棟内に設けた「さくらんぼほいくえん」は事業所内保育所として職員が勤務しやすい環境づくりに努めながら近隣の子どもたちを受け入れ、テラスを介してデイサービスセンターと隣接する位置に配置し、高齢者と子供たちの日常的なふれあいが容易に行える諸室構成といたしました。



居室



リビングダイニング



テラス



明るい中央廊下

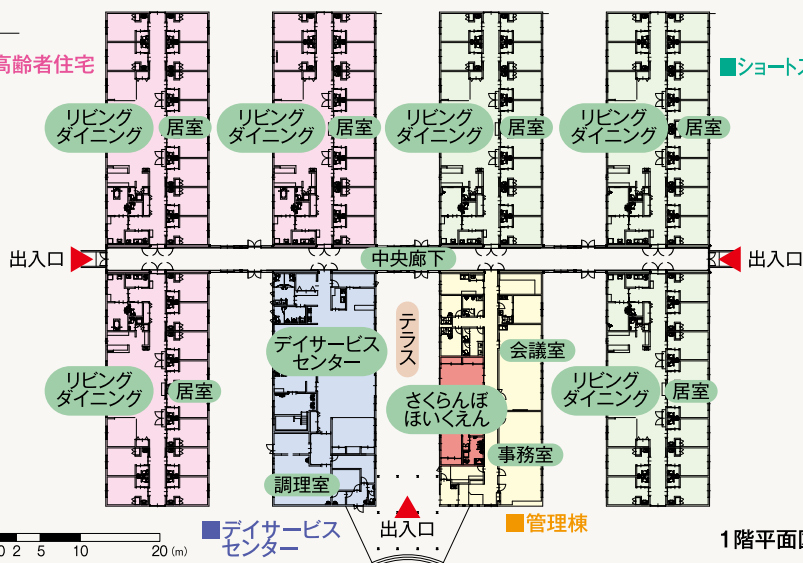


浴室

平面図

■高齢者住宅

■ショートステイ



1階平面図

ご挨拶



社会福祉法人鳴瀬会
すみた荘

理事長
櫻井 末男 様

長年の懸案でありました、新「すみた荘」の建築工事も関係各位のご協力とご努力によりこのたび落成の運びとなりました。皆様には厚く御礼を申し上げます。

昭和60年4月に開設した特別養護老人ホームすみた荘も30年が経過し、施設への入所も開設当時の措置から平成12年4月の介護保険制度による契約へと変わり、時代の変化とともに高齢者の状況も変化し、自宅で暮らすことが困難な状況が多く見られるようになってきています。このような状況から施設の老朽化とあいまって、岩手県・住田町の支援を得て新施設の建設となりました。

新しいすみた荘は、住田町産材をふんだんに使用した木造のユニット型完全個室の施設となっております。また暖房や給湯は木質チップボイラーを導入し、環境にも配慮した施設になっています。新施設では入居者一人ひとりがその人らしく暮らしていける施設を目指しサービスの充実に努めてまいります。

新施設の開所を機に、気持ちも新たに社会福祉法人鳴瀬会役員一同、より一層の努力を重ね励んで参りますので、皆様のあたたかいご支援、ご努力をお願い申し上げます。

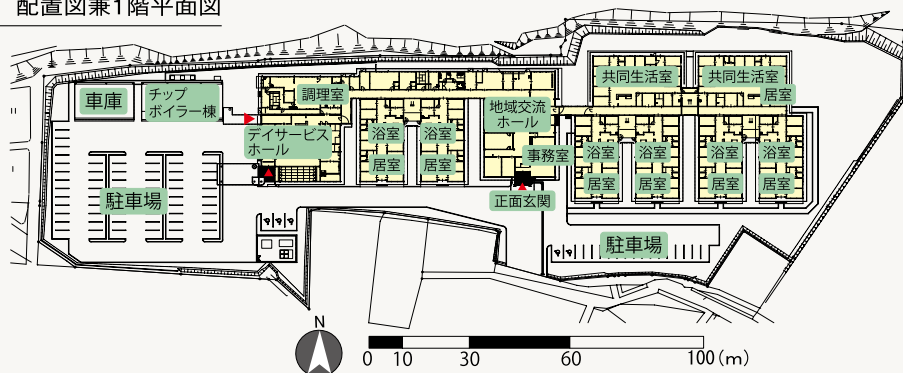


社会福祉法人 鳴瀬会 特別養護老人ホーム

新「すみた荘」

施 工 地 / 岩手県気仙郡住田町世田米字川向8-2
竣工年月 / 平成27年8月
敷地面積 / 15,489.0⁰³m²
延床面積 / 5,006.1⁰m²
構 造 / 木造一部鉄筋コンクリート造 平屋建
入所定員 / 80床

配置図兼1階平面図



安らぎある生活空間

社会福祉法人鳴瀬会様が運営する、「すみた荘」は住田町内で唯一の特別養護老人ホームとして、昭和60年の開所から同町の高齢者福祉事業を支えて参りましたが、施設の老朽化や入所希望者の増加に応えるため平成27年9月に新「すみた荘」を移転し開所されました。新施設は入所者が自身の部屋としてゆっくりとくつろぎながら、自立した生活が送れるよう全室個室とし、共同生活スペースを中心とした10室を1単位とする8ユニットで構成し、木の温もりに満ちた木造平屋建の施設内は、在宅の住環境に近い家庭的な雰囲気と安らぎのある共同生活空間となっております。

利用木材の65%が住田町産木材

外観は複数の連続した各ユニットが交流ホール棟とデイサービスホールを中心に切妻屋根を形成し、個々の建物を連続させることで長屋群を構築し、和風建築物による新たな集落の創出をイメージする計画としました。内部は「森林・林業日本一を目指すまち住田町」に建つ施設として同町産の木材を多用する計画としました。交流ホールやデイサービスホールは柱や梁を前面に表現する大空間とし、ホール内の連続した4本の大黒柱には町産の杉材を採用、腰壁も杉材の羽目板とし自然素材の持つ柔らかな空間を構築しました。施設の建設において使用した住田町産木材は全木材量823m³のうち約65%の533m³におよび、給湯や床暖房の熱源となる木質チップボイラの採用などと共に、木材資源の有効利用に努める環境共生型施設として、地域の林業振興と木材産業の活性化に貢献する施設となっております。



居室



共同生活室



地域交流ホール



デイサービスホール



チップボイラー棟内部



多機能トイレ



ユニット個浴室



葛巻町養護老人ホーム 「葛葉荘」

施 工 地 / 岩手県岩手郡葛巻町葛巻
第17地割39番地3

竣工年月 / 平成29年7月

敷地面積 / 8,980.95㎡

延床面積 / 本館棟：2,693.75㎡

ボイラー棟：87.84㎡

車庫倉庫棟：86.12㎡

構 造 / 本館棟：木造平屋建

ボイラー棟：鉄骨造平屋建

車庫倉庫棟：木造平屋建

ふるさとにいだかれるやすらぎの施設

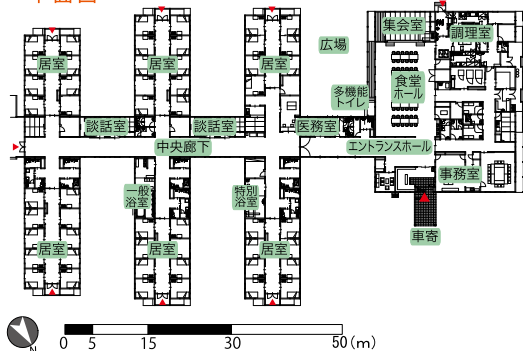
昭和48年に建設された初代「葛葉荘」は8畳1室に4人が居住する部屋が中心で、狭隘なうえ老朽化が進んでおりました。この度、築44年を経て移転改築の運びとなりました。この間生活環境の改善の意識が高まり、町議会では先人に敬意の念をもって時代状況に合わせた養護老人ホームを建設するべく、全会一致で改築計画案を可決し、最新の施設サービスと高齢者福祉サービスの理念を導入した本施設を建設するに至りました。

本施設は葛巻森林組合様の協力を得て、全館でふんだんに地元葛巻町産のカラマツ材を活用し、館内はいたるところで木材のぬくもりに触れることができます。ふるさとの地に植えられて育った木々たちが、ふるさとで暮らした人々を迎え入れ、その晩年の暮らしを温かく包みこんでいます。それはあたかも日常からはなれた心地よい空間に居住する感覚を覚えます。これにより入居者様の生活環境が改善され、やすらぎに満ちた快適な生活空間とする設計となりました。

地図・平面図



平面図



良好な生活環境の向上

本施設は徹底したバリアフリー化を図った設計をいたしました。館外の車寄せから館内の各諸室に至るまで段差を解消し、随所に手すりを設置しております。すべての居室をつなぐ廊下は車椅子でも十分に余裕をもってすれ違える幅を確保しております。また各居室棟をつなぐ共用空間の中央廊下は天井を高くしてハイサイドライトの光が降り注ぐ明るい空間といたしました。各居室は窓を12ミリの複層ガラスとし、さらに内窓をつけ二重窓にして断熱性能を向上させて寒さが厳しい当地方においても良好な住環境と環境負荷の軽減させております。

プライバシーの重視

今回の移転新築を機に各居室は44室を1人1室の個室にして、6室をコネクティングルームにし3組の夫婦部屋として利用できるようにしております。入居者様のプライバシーの保護を図り、居室棟と食堂・ホール、集会所の共同空間とはユニットを分節させてプライバシーの保護と共同生活のバランスを重視しました。入居者様同士のコミュニケーションの場や入居者様とご家族様とのだんらんにも落ち着いた空間が必要であります。この考えから食堂・ホールと集会所とは別に、独立した2か所の談話室も設けております。

安全安心な施設として

本施設は入居者様の利便性と安全性の確保の観点から各棟をつなぐ動線は極力単純化いたしました。ユニットごとに床面や案内表示をイメージカラー分けし館内の移動を容易にしております。また入居棟ごとに避難用スロープを設け自家発電設備を備えるなど災害時対応にも万全を期して設計いたしました。



段差が解消されているエントランスホール



手すりと余裕の幅がある居室棟の廊下



ハイサイドライトの明かりがある廊下の天井



車椅子とストレッチャーが進入できる個室



各入居棟ごとの非常口と避難スロープ



ユニットごとのイメージカラー



集いの場となる食堂・ホールと集会所
竣工・落成を祝う会



生長の家 岩手県教化部会館

施工地／岩手県盛岡市厨川一丁目15番14号

竣工年月／平成21年12月

敷地面積／3,888.91m²

延床面積／1,029.58m²

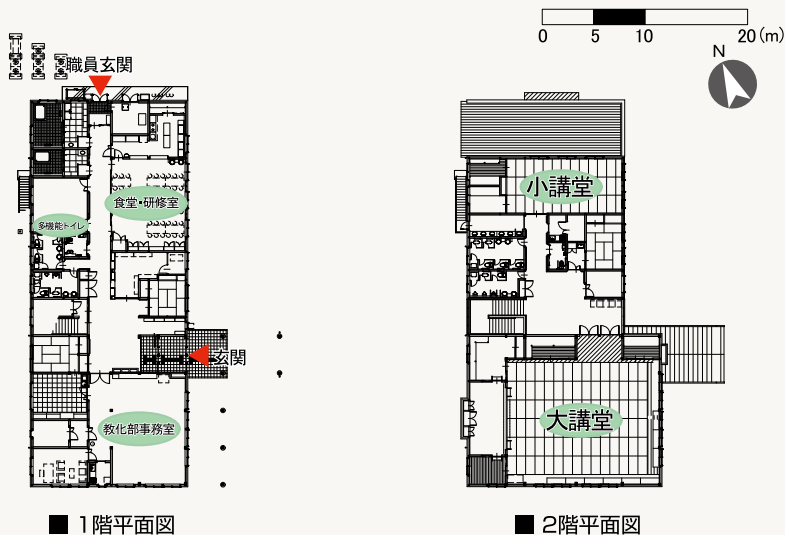
構造／木造2階建

環境問題に考慮した施設

環境マネジメントシステム・国際規格ISO14001を取得し地球環境問題に積極的に取り組んでいる生長の家岩手県教化部様の新会館建設計画においては、自然と人が共存共栄する社会の実現を目指す『森の中のオフィス構想』をシンボライズするよう玄関庇に樹木を想起させる木の柱を取り入れ、国内産集成材を多用する木造大断面構造とし、随所に木の温かみを感じる落ち着いたデザインとしました。

また設備計画では環境問題に対し積極的に取り組む施設としてふさわしく、省エネルギー・省資源化の手法を活用し、環境保護に貢献する施設を目指し取り組みました。

平面図 a plan



自然の力を生かし、地球にやさしいエネルギーの活用

CO₂の削減に効果のある取り組みとして会館の屋根に20kw出力の太陽光発電設備(多結晶シリコン太陽電池)を設置いたしました。太陽光により発電した電気は会館の事務室の照明設備(高効率型照明器具)等に利用し、発電のピーク時には施設全体の照明をまかなえる量となります、また発電で余った電気は電力会社に売電する仕組みといたしました。

冷暖房空調設備については安価な深夜電力を利用する氷蓄熱式マルチエアコン方式を採用しました、深夜電力の活用により電力の平準化を図り電気料金の削減に努めております。



大講堂



小講堂



食堂・研修室



事務室

自然環境に優しい資源の活用

環境に呼応した生長の家岩手県教化部様では、省資源の手法として雨水を利用する浄化システムを採用いたしました。

屋根に降る雨水を地下にスペースを設けて貯留しトイレの洗浄水に利用します、水道水の使用量削減と資源の有効利用を図りました。また、ろ過装置にはカキの貝殻を使用し、貝殻の浄化作用を利用するシステムとしました、産業廃棄物として処理される以外に行き場のないものを有効利用する、環境と共生するシステムです。



太陽光発電



雨水利用設備



多機能トイレ



本誓寺 庫裡

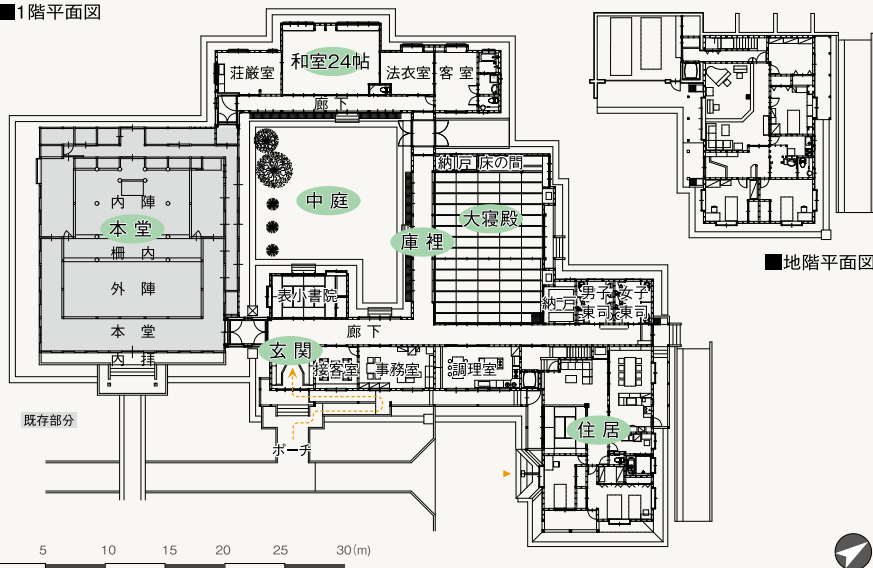
施工地 / 岩手県紫波郡紫波町
二日町字北七久保204
竣工年月日 / 平成18年4月
敷地面積 / 2,896.21m²
延床面積 / 827.97m²
構造 / 木造地上1階地下1階

伝統文化の継承と 壇家の創意を充分に取り入れたお寺

紫波町本誓寺は天正12年（1584年）に建築された伝統ある古寺で、今回改築される庫裡は昭和32年に建築された建物です。しかし傾斜地に建設した為、床は傾き、屋根は本堂からの雪の重みで小屋組が波をうつ状態で、毎年修繕費がかかる状態でした。今回改築にあたり、3年間ご住職が壇家の皆様と話し合いを重ねることにより生まれた創意を基に、充分にユニバーサルデザインを取り入れ、多くの壇家が庫裡内部施設を利用しご住職と世代の融和が図れる施設作りに努めました。

平面図

■1階平面図



■地階平面図

様々なシーンで快適な空間創り

真宗大谷派（東本願寺）の迦藍配置を基本にご住職家族と充分に話し合いを重ね計画しました。玄関、ポーチは車いすでも利用できるスロープを設置し高齢者の利用に配慮しました。事務室は山門又は駐車場が一望でき、お墓参りに来た檀家さんと何時でも対話の出来る様な仕上がりとなりました。また大寝殿は本堂からの日影を考慮し中庭を広く取り、日照と通風を確保しました。調理室は大寝殿脇に配置し法事会場への動線を近くしました。

また普段地域の方々が料理教室の場としてご利用される際も快適にお使いになれるような設備環境となっております。荘厳室についても、毎日本堂の花を生けやすくする為に本堂裏面に配置するなど、様々なシーンで快適に過ごしていただける空間を目指しました。



スロープ付き玄関

シンプルな外観と機能的な特徴

本来、寺社建築の特徴として屋根のデザインを重要視して計画を進める予定でしたが、ご住職との話し合いの際、「屋根に予算をかけるよりもランニングコスト削減に予算をかけたい」という申し出で、外観はシンプルに、しかし軒の出だけは充分にとり外壁の長寿命化を図りました。

また施設の主なランニングコスト削減に努めるための計画として、大屋根の雨水利用で男女東司（WC）の排水に使用し水道料金の削減、太陽熱利用で温水タンクにお湯を貯めて給湯ボイラーの運転軽減による灯油代の削減、地中熱利用による住宅部分の全館床暖房床暖ボイラーの運転軽減による灯油代の削減、地中熱循環方式による外部通路の除雪システム（自然エネルギー利用）などをとりいれ、環境への配慮と同時に、檀家さんへの負担軽減へもつなげることができました。



和室24帖

地中熱利用システム概要図

【外気給気口利用】 夏期外気給気口から給気、排気のセットファンを利用

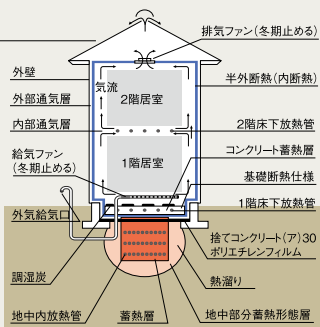
朝方の冷風を取り入れながら壁の中の構造体を換気し、劣化への軽減となります。またその効果は冷房の補助ともなる。

【地中内放熱管利用】 夏期駐車場路盤埋設放熱管と、単独循環ポンプで熱交換

路盤の温度を下げると共に、冬期ロードヒーティング用の熱を蓄熱する。

【地中内放熱管利用】 上段放熱管は夏期住宅内の放熱管と単独循環ポンプで熱交換

住宅内の温度を下げ冷房の補助となり、住宅内の太陽熱を地中で放熱、蓄熱冬期暖房の補助とする。



調理室



中庭2(太陽熱利用システム)



中庭1



大寝殿



光照寺本堂 庫裡 ※庫裡のみ木造

施工地／岩手県盛岡市本町通2丁目6-24
 竣工年月／平成21年3月
 延床面積／2,359.72㎡

■本堂
 延床面積／332.58㎡
 構造／鉄筋コンクリート造平屋建

■庫裡
 延床面積／420.40㎡
 構造／木造二階建

伝統と歴史の継承

歴史的風情が漂う盛岡市寺町通りに、天正元年からの伝統と歴史ある光照寺の本堂は明治35年(1902年)に建てられた築後100年を越える建物でありました。

木造の瓦屋根づくりの本堂は長年の風雪により、老朽化が進み冬期間には雪の重みで柱や梁がきしみ襖が開かないなど傷みが目立つ状態となっておりました。

これらの老朽化による様々な問題を解消し、檀家様やご住職など利用されるすべての方々への利便性と快適性の向上を図り、これからの100年を見据える建物として計画いたしました。



本堂



本堂向拝南虹梁



庫裡(住居)

時と共に歩む建築

新しい本堂は木造建築のような風格を十分に表す鉄筋コンクリート造とし日本堂の西側の庭に配置いたしました。本堂が西側に移ることで生じた東側の広いスペースには樹齢300年ともいわれる伽羅木の庭園や、檀家様用の駐車場を設け利便性と快適性に配慮いたしました。

庫裡は周辺地域との調和を考慮して落ち着いた木造の二階建とし、入母屋など本堂との統制がとれた外観といたしました。

本堂と庫裡との間には本堂からの日影を考慮し中庭を設けました。陽光が降注ぎ四季の移ろいを感じられる庭園となっております。

内部においては、本堂は真宗大谷派主流の七間四面三間内陣として十分な広さを確保し、外陣は最近ご要望の高い椅子の利用を視野に入れたカーペット敷といたしました。段差の解消により車椅子利用者の方にも利用しやすい施設となっております。

住居部分は高気密・高断熱化に努め深夜電力による蓄熱式暖房機を採用しCO₂排出量の低減を図るなど地球環境にやさしい計画といたしました。



内陣

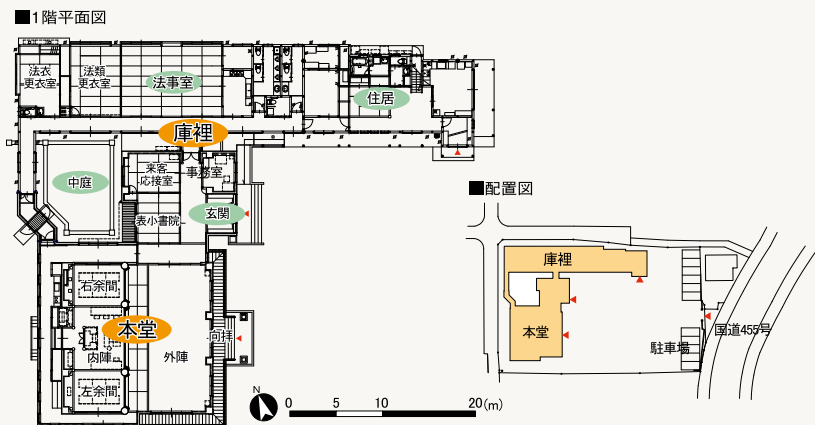


内陣天井



外陣

平面図





おお づち
大槌町営
お が ぐち
大ケロー一丁目住宅

施 工 地／岩手県上閉伊郡大槌町
大ケロー一丁目1
竣工年月／平成25年8月
敷地面積／12,708㎡
延床面積／4,047㎡
構 造／木造長屋1～2階建(12棟)
戸 数／70戸
1DK:27戸
2DK:17戸(車椅子対応4戸)
3DK:20戸
4DK:6戸

忘れてはならない記憶

岩手県沿岸南部に位置する大槌町は、東日本大震災の津波により住宅地・市街地面積の約50%に当たる4km²が浸水し、町内全家屋の60%に当たる約3,800棟が全壊または半壊となり、町の中心部で発生した火災も被害を拡大し、犠牲になられた方々は行方不明者を含めて1,200人を超え多大な被害を受けました。震災直後は町内に数箇所の避難所が設けられ最大6,000人の町民が避難生活をしておりましたが、その後に整備された2,000戸を超える仮設住宅での仮住まいは、震災後7年もの年月を経過した今なお続き、被災者の生活再建はいまだ不透明な状況にあります。謹んで、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

平成25年8月に完成した大槌町営大ケロー一丁目住宅は、大槌町において初めて竣工した災害公営住宅で、独立行政法人都市再生機構が被災3県で計画している復興支援事業において初めて完成した事業です。復興まちづくりの初動期の事業において大槌町の再生のために今後の住まいづくりの指針的な役割を担いながら、被災者の生活再建と地域コミュニティの再生を図る施設としてその役割を果たします。



被災した町役場



建物に乗り上げた観光船



火災を受けた小学校

地域と融和する住まいづくり

豊富な山林資源と大槌川に接する豊かな水資源を有する当地域での新築計画においては、豊かな自然とともに歩んできた人々の営みの継承と周辺環境との調和に配慮する施設計画を行いました。外観は里山の風景や周囲の街並みになじむよう圧迫感を与えない木造長屋形式の低層和風建築とし、木造の軸組を強調した真壁風のデザインにより周囲に落ち着きある表情を与え、既存住宅と融和する地域のシンボルとして景観を形成しております。

また、建設に用いた木材の約6割は大槌町産材(杉材)を使用し、地域の復興に地域の資源を最大限に活用する「大槌らしい住まい」を実現いたしました。



集会所



A棟(車椅子対応住戸)



中央広場

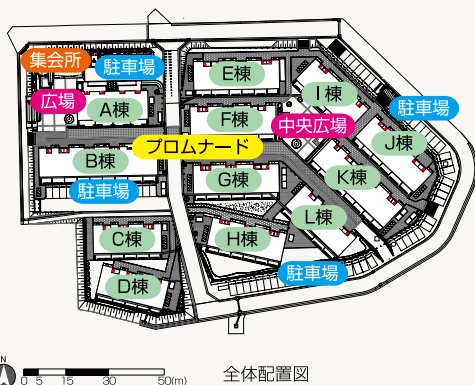


K棟



J棟

平面図





飯舘村営住宅 おおやち 大谷地団地

施工地／福島県相馬郡飯舘村
草野字大谷地
竣工年月／平成28年5月
敷地面積／15,395.50㎡
延床面積／634.84㎡
構造／木造 長屋2階建(2棟)
戸数／8戸

故郷での再出発に向け

飯舘村では、平成29年4月1日の避難指示区域の一部解除に伴う村民帰村に備え、公営住宅の再構築を行い、スムーズな生活の再建を支えるため村営住宅大谷地の整備を計画いたしました。2棟からなる木造長屋形式の住宅は、居住者の快適性と安全性に配慮し計画をいたしました。玄関へは建物南側からのアプローチとして冬期間における凍結防止に配慮し、専用の庭を設けて暮らしの充実を図りながら、世帯間のコミュニティの形成を促します。室内には十分な自然採光や自然通風を確保し、明るい室内環境のもとユニバーサルデザインを取り入れ暮らしの安全性にも努めております。



広々とした明るい洋室

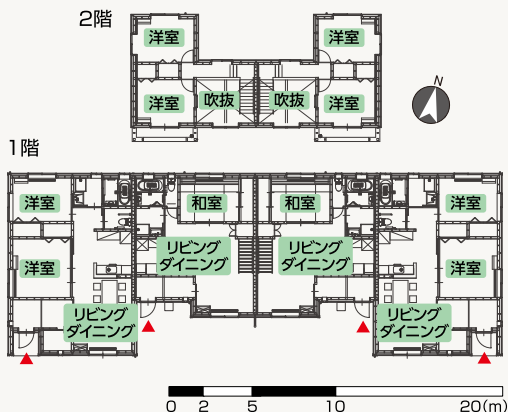


2階へ続く吹き抜け空間



車椅子仕様のキッチン

平面図



これからの 木造建築設計に寄せて



日本は豊富な木材資源を有しており、建築においても高度な木造建築技術が古くから発展してきました。古くから慣れ親しまれてきた木造の空間は誰にとっても安らぎを感じる、やさしい空間になります。木造建築と言えば日本では主に在来軸組工法をさし、中規模程度の建物であれば無理なく建てることができます（P60 新すみた荘（2015）、P34 葛巻町立江刈小学校（2016）など）。近年では、在来軸組工法に用いる一般流通木材を用いて大空間を作る事例も増えてきました。また、エンジニアリングウッド（集成材、LVL など）と呼ばれる木材二次加工品を用いた大空間や複雑な形態を生み出す技術も広く普及しています。（P44 紫波町役場新庁舎（2015）、P30 大槌町立大槌学園（2016）、P56 飯舘村交流センターふれ愛館（2016））。

当社でも地域産木材の活用を優先しながら木造建築や、空間の木質化に取り組んでいます。今現在、木造建築は CLT（直行集成板）を始めとした新しい技術の活用により、今までにないような空間づくりの可能性が模索されています。今まで鉄筋コンクリート造や鉄骨造で建てられてきた大型建物・高層建物も木の持つ特性（やさしい風合い、CO₂の抑制、施工性の良さ、軽量など）を生かすことで木造に置き換えが可能となり、より一層の木造建物の大型化、都市の木造化が進んでいきます。

久慈設計は伝統を大切にするとともに新しい技術にも目を向け研鑽し、より豊かで創造的な空間づくりに今後も取り組んでまいります。



株式会社久慈設計東日本 ……Introduction of Company

営業の沿革

名称	株式会社久慈設計東日本	
本社	宮城県仙台市青葉区八幡五丁目3番11号	
設立	平成4年5月	
資本金	10,000,000円	
社員数	13人(平成30年3月末日現在)	
沿革	平成4年5月	株式会社久慈設計サービスを設立する。
	14年2月	代表取締役任に久慈竜也就任する。
	19年4月	代表取締役任に本多貞勝就任する。
	20年11月	株式会社久慈設計東日本事務所と改称する。
	20年11月	東京支店を開設し登記する。
	27年4月	株式会社久慈設計東日本と改称し本店を宮城県仙台市に移転し登記する。
	27年4月	代表取締役任に及川敬幸就任する。
	27年4月	盛岡支店を開設し登記する。
	28年11月	代表取締役任に小川茂樹就任する。

役員

(平成30年3月末日現在)

代表取締役 **久慈 竜也**

代表取締役 **小川 茂樹**
(一級建築士)

取締役副社長 **本多 貞勝**

取締役常務執行役員
東京支店長 **久慈 智春**

取締役 **佐藤 孝良**
設計部長 (一級建築士)

執行役員 **松岡 尚之**
担当部長 (一級建築士)

取締役 **櫻木 勲**
盛岡支店長 (一級建築士)

監査役 **久慈 和也**
(宅地建物取引士)

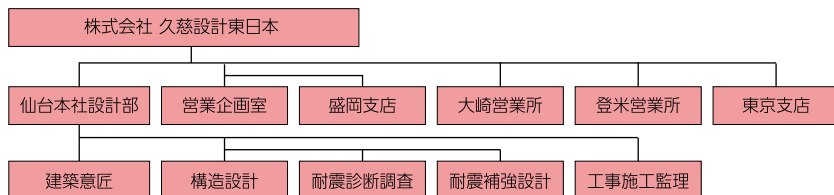
資格者

(平成30年3月末日現在)

一級建築士 ……………4名
構造設計一級建築士 ……………1名
二級建築士 ……………1名

建築積算士 ……………1名
建築コスト管理士 ……………1名
宅地建物取引士 ……………1名

組織図・事業拠点所在地



本社

宮城県仙台市青葉区八幡五丁目3番11号
久慈設計仙台ビル
TEL.022-727-8780 FAX.022-727-8781
【宮城県知事登録第15610059号】

大崎営業所

宮城県大崎市古川小泉字大小441-1
エクセレントファム102号

登米営業所

宮城県登米市迫町北方字山ノ上35-4-103号

盛岡支店

岩手県盛岡市紺屋町3番11号
TEL.019-604-8205
FAX.019-604-8206
【岩手県知事登録第5(1902)第1346号】

東京支店

東京都板橋区蓮根一丁目16番9号
TEL.03-6789-3992
FAX.03-6789-3992

農林水産省

東北農政局大崎市庁舎解体撤去設計業務

宮城県

仙台二高講堂棟天井撤去改修設計業務委託
 仙台中央警察署ほか1件
 太陽光発電設備設置工事監理業務委託
 図書館照明設備改修工事ほか1件監理業務委託
 仙台宿泊所(ホテル白萩)耐震改修工事監理業務委託
 常盤台霊苑霊堂改築設計業務委託
 蒲崎排水機場建屋新築設計業務委託
 岩沼西部地区第1揚水機場新築ほか4件設計業務委託
 平松地区ほか2件
 応急仮設住宅解体工事発注者支援業務委託
 町北地区③ほか4件
 応急仮設住宅解体工事発注者支援業務委託
 新栄東公園地区ほか4件
 応急仮設住宅解体工事発注者支援業務委託
 蛇田中央地区ほか3件
 応急仮設住宅解体工事発注者支援業務委託
 黄金袋地区ほか4件
 応急仮設住宅解体工事発注者支援業務委託
 小松島支援学校松陵校設置改修工事監理業務委託
 角田支援学校屋内運動場大規模改造設計業務委託
 村田高校実習棟改築等ほか1件工事監理業務委託

仙台市

仙台市将監老人憩いの家耐震改修工事設計業務委託
 平成28年度プレハブ仮設住宅解体工事その2設計業務委託

石巻市

総合支所管内(その1)学校施設特殊建築物等定期点検業務

東松島市

平成29年度矢本海浜緑地管理棟新築工事実施設計業務

南三陸町

平成27年度南三陸町学校給食センター
 災害復旧工事設計業務委託
 平成28年度南三陸町学校給食センター
 災害復旧工事建築許可申請業務委託
 平成28年度南三陸町学校給食センター
 災害復旧工事監理業務委託

色麻町

平成29年度色麻町農村環境改善センター改修工事
 実施設計委託業務

国立大学法人

東北大学(多元研)科研N106号室耐震補強設計業務
 東北大学(青葉山1)
 未来化学技術共同研究センター1,2修繕計画業務

独立行政法人国立高等専門学校機構

仙台高専(広瀬)学生寄宿舎(北寮)1階改修工事設計業務

日本小型船舶検査機構

日本小型船舶検査機構仙台支部事務所(検査場)
 改修工事に係る建物検査
 日本小型船舶検査機構仙台支部事務所(検査場)
 改修工事管理業務(第二期)

宮城県仙台第二高等学校

宮城県仙台第二高等学校講堂音響設備更新工事設計業務

宮城県松島高等学校

宮城県松島高等学校
 第2グラウンド防球ネット増設工事設計業務

登米市民病院

登米市立登米市民病院
 手術室1,2空調機更新工事設計監理業務

社会福祉法人あすなろ会

(仮称)かがの保育園小規模保育所新築工事設計監理業務

協力業務実績

仙台合同庁舎設備改修実施設計業務
 宮城県警察学校設備改修実施設計業務
 (ネクスコミュニケーションズ東日本)
 仙台東事業所機材庫設置工事
 (仮称)野辺地展示施設設計画業務
 (株)スリーエス(仮称)
 福島事務所及び社宅建築プロジェクト
 (浦安市)浦安中学校大規模改修・増築工事設計業務委託
 鎌ヶ谷市立五本松小学校普通教室・特別教室等
 整備工事設計委託
 七十七銀行将監支店新築工事監理業務
 紫波町立上平沢小学校プール改築工事実施設計業務
 八幡平市国民健康保険西根病院新築工事設計業務
 (大田区)仲六郷保育園改築工事実施設計委託
 佐賀競馬場スタンド棟耐震補強設計業務委託
 石巻市(仮称)観光交流施設(かわまち公共施設)
 建設工事設計業務
 (葛巻町)養護老人ホーム葛葉荘整備工事実施設計業務
 岩手銀行遠野支店新築工事設計業務

久慈設計では東京支社営業企画部所属の小西あかね（平昌オリンピックアイスホッケー女子日本代表ゴールキーパー）の活躍を伝える「あかねだより」を発行して応援しています。



あかねだより

小西 あかね(こにし あかね)

ソチ五輪アイスホッケー女子「ロシア」出場競技者
平昌五輪アイスホッケー女子「ロシア」日本代表選手
SEIBUリニアバスステーション所属
株式会社 久慈設計 東京支社 営業企画部 所属

小西あかね コリア戦でフル出場!大活躍!

2018年2月に行われた平昌五輪で、アイスホッケー女子日本代表が五輪史上初勝利となった韓国と北朝鮮の合同チーム「ロシア」戦のゴールキーパーとして、小西あかねがフル出場し4-1で見事勝利しました。



チーム「ロシア」から
ゴールを守る小西あかね



試合後のスロアボードに映る
小西あかね



Always
with a SMILE!

TEL.03-6682-4111
FAX.03-6682-4070
03-6682-4071

東京業務本部 東京支社
東京都千代田区西神田二丁目5-2 TASビル5階

KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計



皆様の温かい応援 本当にありがとうございます。

岩手県庁や
西東京市にも、
小西あかねの横断幕や
懸垂幕を掲げ、
応援を頂きました。



岩手日報 平成30年2月12日に
小西あかねの記事有り



西東京市の広報紙に
小西あかねの記事有り



西東京市役所のスポーツセンター



岩手県庁

仙台支社



盛岡本社



東京支社



久慈設計では小西あかねを全社で応援しました!

Always with a SMILE!

感動をありがとう!!



小西 あかね (こにし あかね)
 AKANE KONISHI
 生年月日：1995年8月14日
アイスホッケーのGK
アイスホッケー女子日本代表
(ソチ五輪、平昌五輪出場)
 西武ブリンセスラビッツ所属
 久慈設計東京支社所属



平昌五輪でチーム「コリア」から
ゴールを守る小西あかね

「小西 応援に感謝」 平昌五輪代表を祝

平昌五輪代表の活躍を祝う。小西選手は、アイスホッケー女子日本代表のゴールキーパーとして活躍している。久慈設計東京支社所属の小西選手は、平昌五輪でチーム「コリア」からゴールを守る活躍を見せた。

久慈設計東京支社所属の小西選手は、平昌五輪でチーム「コリア」からゴールを守る活躍を見せた。久慈設計東京支社所属の小西選手は、平昌五輪でチーム「コリア」からゴールを守る活躍を見せた。



左から久慈社長、小西あかね、平昌五輪代表選手代表

若手日報 (2018年3月16日 22面掲載)

Always with a SMILE!



本物の一流専門家集団による
お客様と社員と社員の家族の笑顔づくり

株式会社久慈設計 小西あかねです。

平昌五輪では、みなさんの応援のおかげ様で
日本の五輪初勝利に貢献することが出来ま
した。

4年後の北京五輪を目指して更に邁進して
いきます。

これからも応援よろしくお願ひします。

2018年3月15日

 KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計®
(一級建築士事務所)

東京支社 / 〒101-0065
仙台支社 / 〒980-0871
本社 / 〒020-0885

東京都千代田区西神田 2-5-2 TASビル 5F
宮城県仙台市青葉区八幡 5-3-11 久慈設計仙台ビル
岩手県盛岡市紺屋町 3-11 久慈設計ビル

TEL.03-6682-4111
TEL.022-727-8780
TEL.019-624-2020

人財を育てるインターンシップ制度

設計技術者と一緒に体験するインターンシップ



建築設計に興味や関心のある方、
建築士に憧れのある方、
当社のインターンシップを通して「建築士」としての働く姿をイメージしてみませんか？

※インターンシップとは、学生が一定期間企業などの中で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行える制度のことです。

内容詳細	設計事務所で CAD ソフトを使用した図面のトレースやスタディ模型の作成などの実務業務を体験していただけます。 ※仕事は勿論、設計事務所の雰囲気や社会人としての基礎的なマナーも勉強してください。
実施場所	東京、仙台、盛岡
報酬・交通費	報酬および交通費を支給する予定はありません。
申込方法	学内の就職サポートセンター等を通しての応募か、当社にお電話にてお問い合わせ下さい。
応募期間	随時受付しております。
申込後の流れ	お申込み ※ご本人か学校を通じてお申込みください。 当社より面談のご連絡をいたします。 面接後、インターンシップに参加
平成 29 年度 新入社員出身校	ホーチミン工科大学 東北工業大学大学院 工学研究科 建築学専攻 岩手県立産業技術短期大学校水沢校 電気技術科 日本大学 理工学部 建築学科

募集要項の詳細確認は HP にて

<http://www.kuji-act.com/>